

首都圏中央連絡自動車道

H29年度事業費: 425.3億円

【神奈川県・東京都・埼玉県・茨城県・千葉県】直轄

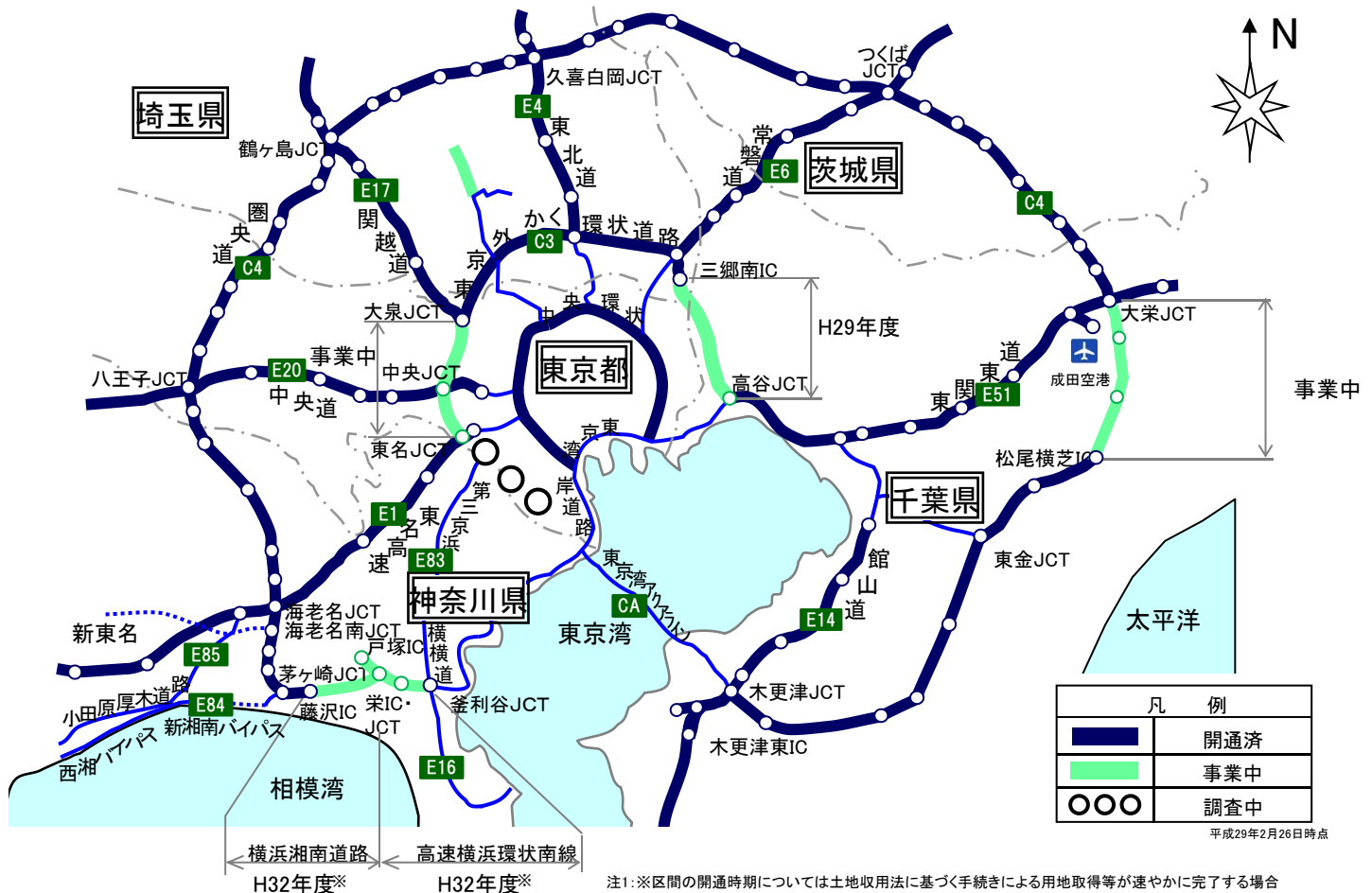
事業の概要

しゅとけんちゅうおうれんらく

首都圏中央連絡自動車道は、首都圏の幹線道路の骨格となる3環状9放射の道路ネットワークを形成し、都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された総延長約300kmの環状の高規格幹線道路です。平成29年2月26日に茨城県区間が全線開通し、圏央道全体約300kmのうち約9割がつながりました。

平成29年度予定

○未開通区間の整備によるネットワーク効果の早期発現に向け、調査設計、用地買収、改良・橋梁・トンネル工事を実施する予定です。



注1: ※区間の開通時期については土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

注2: 久喜白岡JCT～木更津東IC間は、暫定2車線

注3: 開通区間以外のIC、JCTは仮称(但し、外環道の松戸IC、市川北IC、市川中央IC、市川南ICは決定)

事業の効果

- 都心部への交通の適切な分散導入により、首都圏全体の道路交通の円滑化が図られます。
- 圏央道沿線では企業立地が進み、雇用や税収の増加といった効果が現れています。
物流の効率化等により、企業活動の生産性が向上しています。
- 首都圏近郊の世界遺産などの観光地が高速道路で結ばれ、広域的な観光交流が促進されます。
さらに、成田空港までつながったことで、インバウンド観光の促進が期待されます。
- 災害時の支援ルートが確保されます。

とうきょう がい かんじょう かんえつ とうめい 東京外かく環状道路(関越～東名)

H29年度事業費：530.0億円

【東京都】直轄

事業の概要

とうきょう がい かんじょう かんえつ とうめい
東京外かく環状道路(関越～東名)は、東京の中心から半径約15km地域を結ぶ延長約85kmの環状道路のうち、東京都市圏の都心方向に集中する交通を適切に分散、導入し、東京都市圏の均衡ある道路網体系を確立するかんえつどう とうめい
関越道から東名高速までの延長約16kmの事業です。

《渋滞状況》

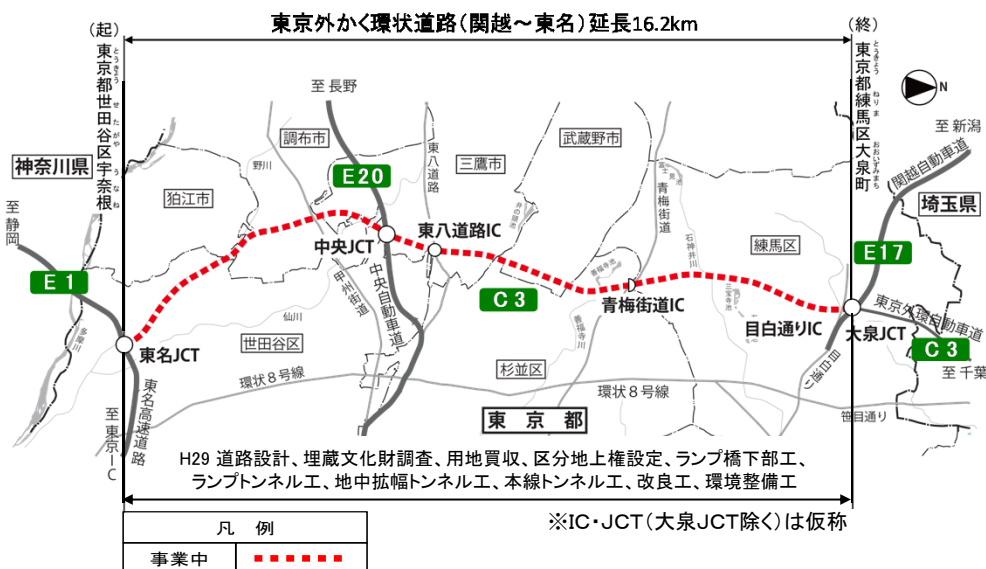


環状8号線(世田谷区八幡山2丁目付近)



平成29年度予定

○早期開通に向け、道路設計、埋蔵文化財調査、用地買収、区分地上権設定、ランプ橋下部工、ランプトンネル工、地中拡幅トンネル工、本線トンネル工、改良工、環境整備工を実施する予定です。



事業の効果

- 首都圏の都心方向に集中する交通を抑制し、都心に用のない交通を分散させることで、首都圏の慢性的な渋滞の緩和が期待されます。また、周辺の生活道路の通過交通が削減されることにより安全性の向上も期待されます。
- 羽田空港からかんえつどう
関越道方面のアクセスなど、時間短縮や定時性の向上が期待されます。
- 東京都練馬区(関越道)～東京都世田谷区(東名高速)間の所要時間は約12分となり、現在の環状8号線や首都高速へと迂回するルートと比べ、大幅な時間短縮が見込まれます。

平成29年度開通予定

国道298号 東京外かく環状道路(千葉県区間)

H29年度事業費: 241.9億円

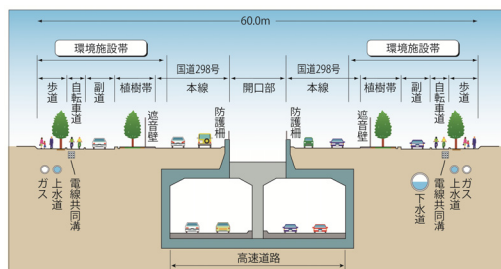
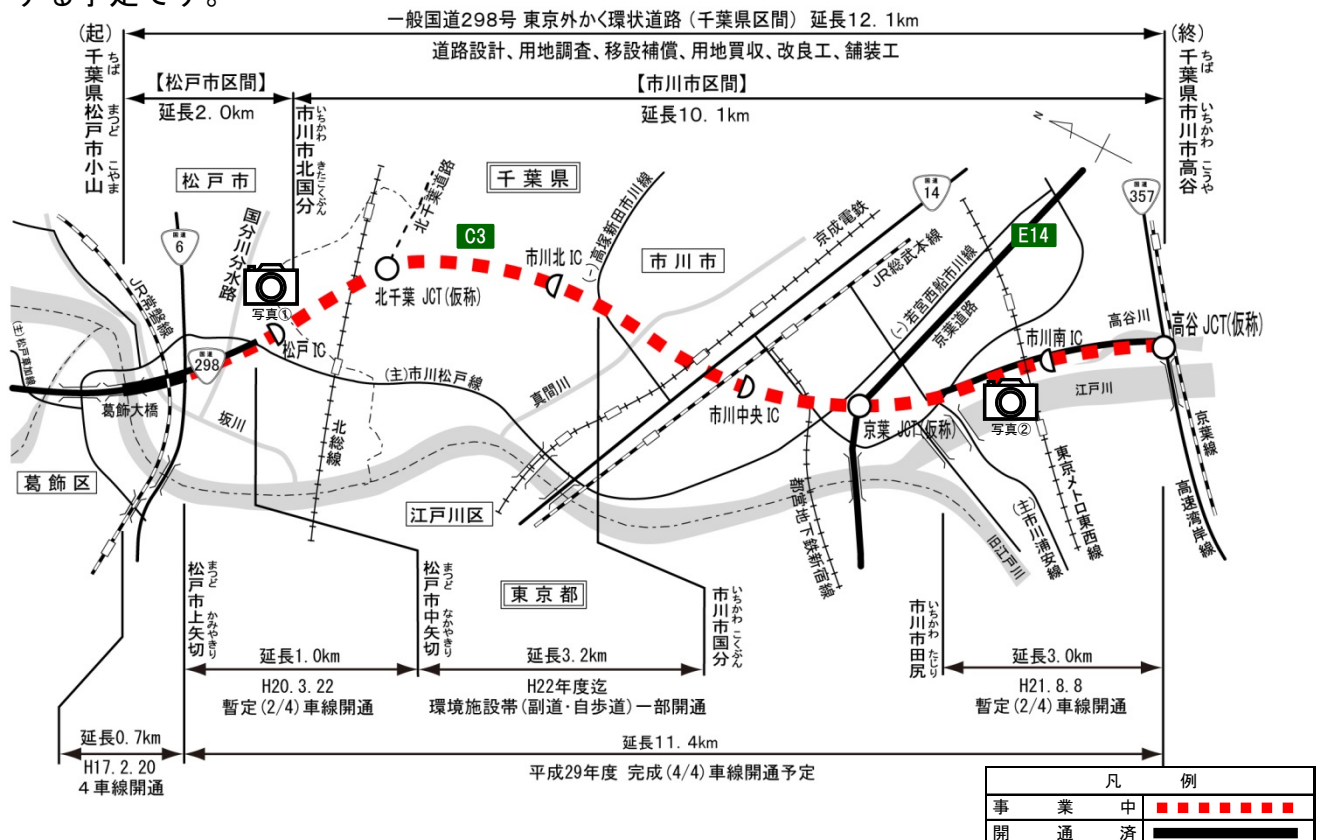
【千葉県】直轄

事業の概要

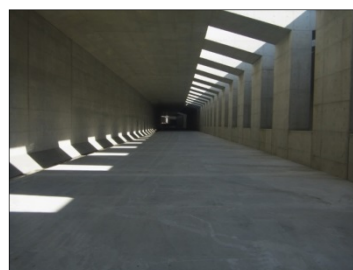
東京外かく環状道路(千葉県区間)は、県内で発生している慢性的な渋滞の緩和、渋滞に伴い増加している生活道路での事故の防止など、地域の改善を図る事を目的とした、松戸市小山から市川市高谷までの延長12.1kmの道路です。

平成29年度予定

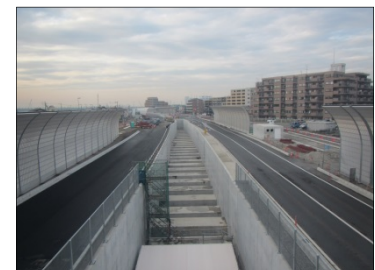
○平成29年度の開通に向け、道路設計、移設補償、用地買収、改良・舗装工事を実施する予定です。



標準断面図



写真①: 松戸市矢切地区



写真②: 市川市高谷地区

事業の効果

- 各地への所要時間が大幅に短縮されるとともに、定時性の確保が期待されます。
- 内陸の東葛地域と湾岸地域間の時間短縮が図られ、周辺の工業団地や物流拠点間の連絡強化が期待されます。
- 渋滞を避けようとして生活道路などに入り込んでいた車が転換され、交通事故の減少が期待されます。
- 地震などの災害時の一時的な避難路や緊急輸送路など防災空間としての機能が期待されます。

東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)

H29年度事業費:82.1億円

【茨城県】直轄

事業の概要

東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)は、重要港湾群(鹿島港、茨城港)や国際拠点である成田国際空港・茨城空港へのアクセス向上や常磐自動車道、国道51号の災害時の代替路線の確保を図るとともに、北関東地域と東関東地域の連携交流の促進に寄与する事業です。

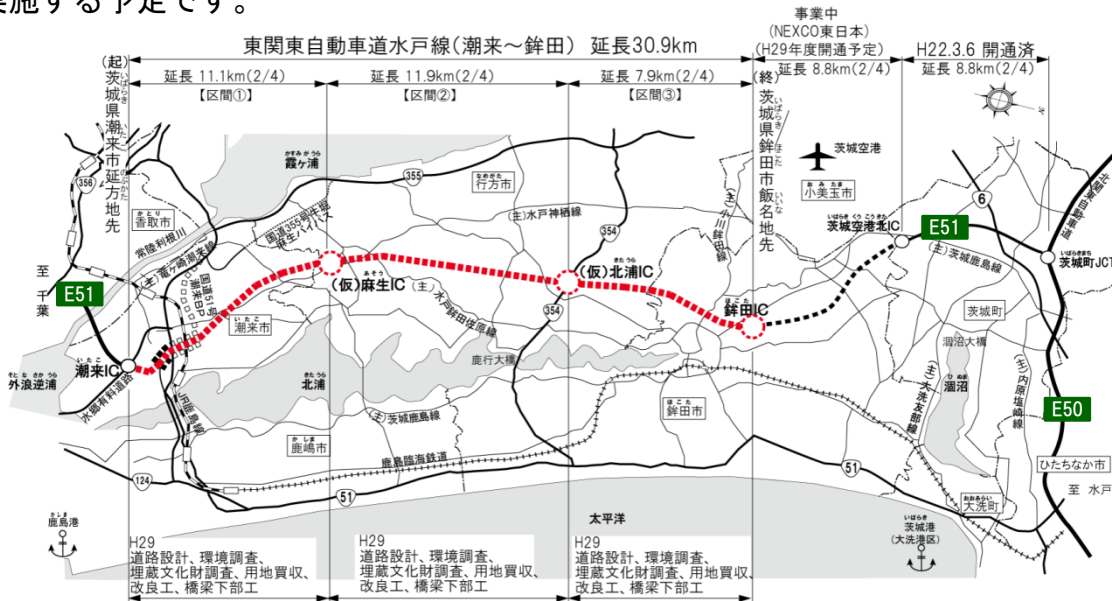


崩落した常磐自動車道
水戸IC～那珂IC付近
出典:東日本高速道路(株)



平成29年度予定

○早期開通に向け、道路設計、環境調査、埋蔵文化財調査、用地買収、改良・橋梁下部工を実施する予定です。



事業の効果

- 重要港湾群(鹿島港、茨城港)ならびに国際拠点である成田国際空港・茨城空港へのアクセスが向上し、国際競争力の強化が期待されます。
- 災害発生に伴う代替路線として、援助物資の緊急輸送路の役割を果たすことが期待されます。
- 他の高速道路とネットワーク化が図られ、周辺の観光資源へのアクセスが向上し、周遊機会の増加が期待されます。

ちゅうぶ おうだん
中部横断自動車道

平成29年度一部開通予定

H29年度事業費:424.8億円

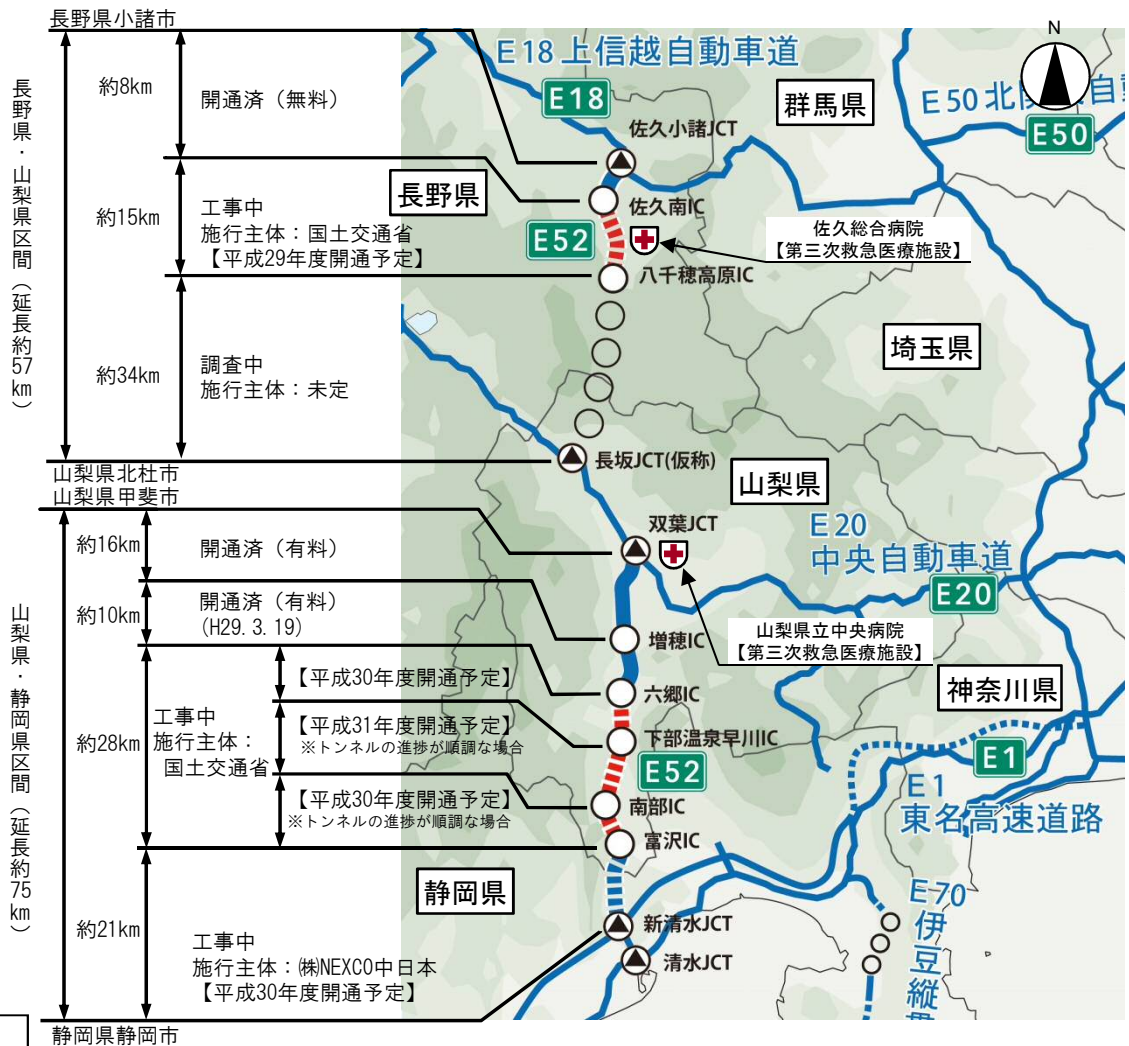
【山梨県・長野県】直轄

事業の概要

中部横断自動車道は、上信越自動車道、中央自動車道、東名高速道路を結ぶ広域高速ネットワークを形成し、物流の効率化、緊急医療活動の支援、災害時の代替道路の確保等を目的とした、日本列島の中央部を南北に結ぶ延長約132kmの高速自動車国道です。

平成29年度予定

- 富沢IC～六郷IC間の約28kmについては、富沢IC～南部IC間及び下部温泉早川IC～六郷IC間は平成30年度、南部IC～下部温泉早川IC間は平成31年度の開通に向け、改良・橋梁・トンネル・舗装工事を実施する予定です。
- 八千穂高原IC～佐久南IC間の約15kmについては、平成29年度の開通に向け、改良・橋梁・舗装工事を実施する予定です。



事業の効果

- 道路ネットワークの形成により、佐久総合病院等を中心とする救急医療体制を構築するなど、地域拠点の連携を確保します。
- 首都直下地震や東海地震などの災害時における代替路や広域的な災害時の救急・救援ルートとして機能します。
- 輸送時間の短縮に加え販路の拡大が見込まれるため、物流の効率化に貢献します。

国道4号 矢板^{やいた}拡幅

H29年度事業費：0.8億円

【栃木県】直轄

事業の概要

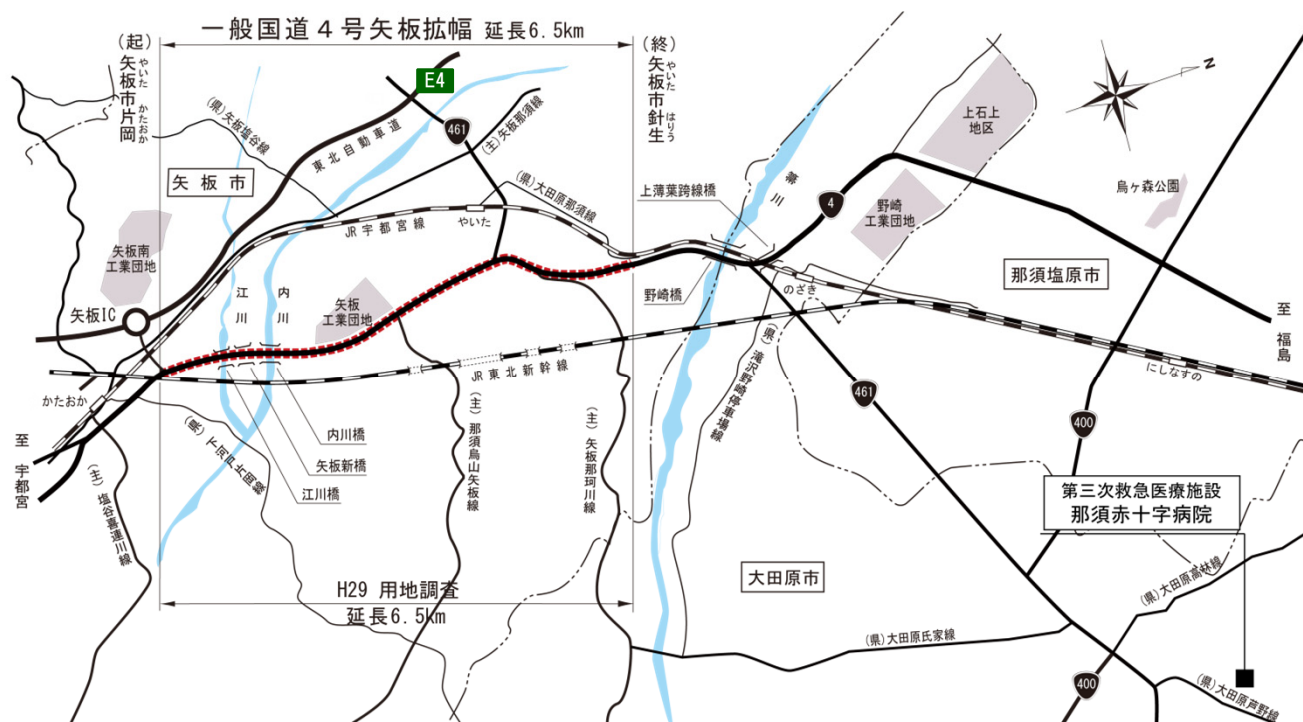
国道4号矢板^{やいた}拡幅は、矢板市^{やいた}街地の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした、矢板市^{やいた}片岡^{かたおか}から同市針生^{はりう}までの延長6.5kmの現道拡幅事業です。

平成29年度予定

○工事着手に向け、用地調査を実施する予定です。



国道4号の渋滞状況



事業の効果

- 矢板市内の交通渋滞の緩和や渋滞による死傷事故数の減少が期待されます。
- 第三次救急医療施設である那須赤十字病院へのアクセスルートを強化し、救急搬送ネットワークを構築します。
- 災害時における東北自動車道との連携強化が図られます。

にしなすの 国道4号 西那須野道路

H29年度事業費:7.0億円

【栃木県】直轄

事業の概要

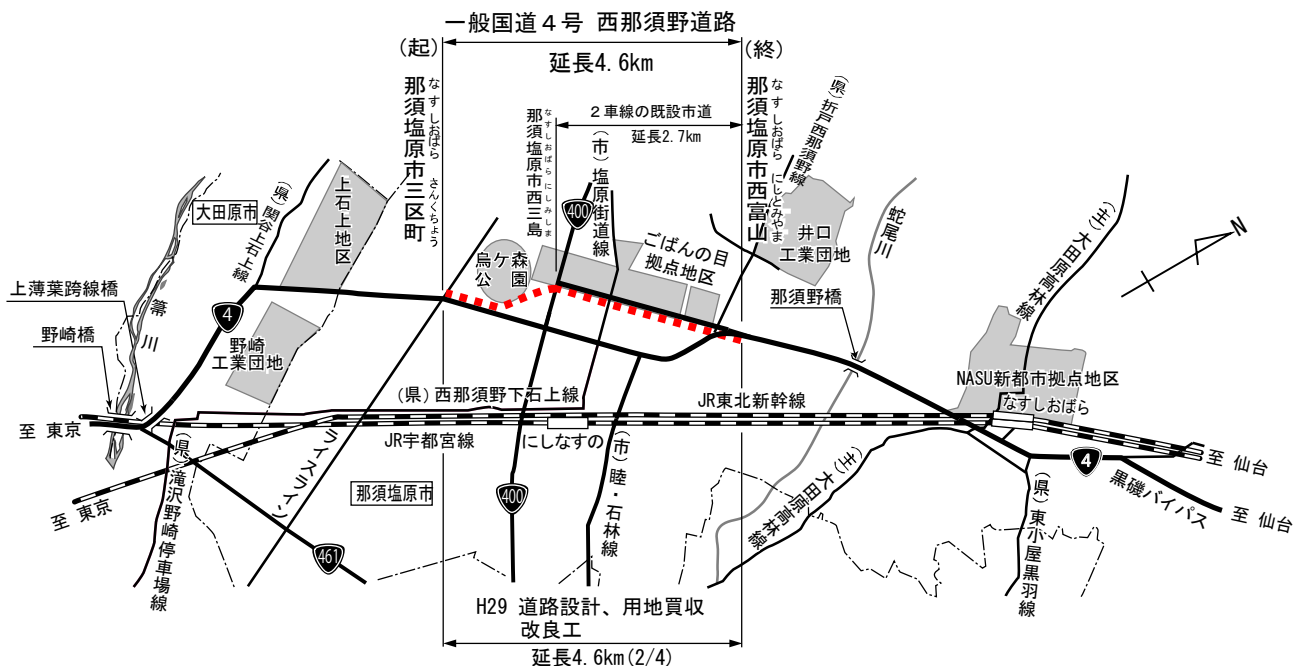
国道4号西那須野道路は、^{にしなすの}那須塩原市街地の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした、^{なすしおばら}那須塩原市三区町から^{にしとみやま}同市西富山までの延長4.6kmのバイパス及び現道拡幅事業です。

平成29年度予定

○早期開通に向けて、道路設計、用地買収、改良工事を実施する予定です。



国道4号の渋滞状況



事業の効果

- 国道4号（現道）の交通が転換し、交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待されます。
- ^{とうほく}東北自動車道までのアクセスが向上することから、沿道に立地する工業団地の物流機能の強化・企業活動の活性化が期待されます。

ひがしさいたま
国道4号 東埼玉道路(延伸)

H29年度事業費:19.4億円

【埼玉県】直轄

事業の概要

ひがしさいたま
国道4号東埼玉道路(延伸)は、国道4号の交通混雑の緩和や埼玉県東部地域における開発事業の支援を目的とした、吉川市川藤^{よしかわ かかわふじ かすかべ すいかく}から春日部市水角までの延長8.7kmのバイパス事業です。

平成29年度予定

○早期開通に向けて、道路設計、用地調査、用地買収、改良工事を実施する予定です。



国道4号の混雑状況



事業の効果

- 周辺地域の交通混雑の緩和、交通事故の減少が期待されます。
- 地域の開発事業を支援するとともに、地域経済の活性化に寄与します。

おおわだ 国道6号 大和田拡幅

H29年度事業費：10.5億円
【茨城県】直轄

事業の概要

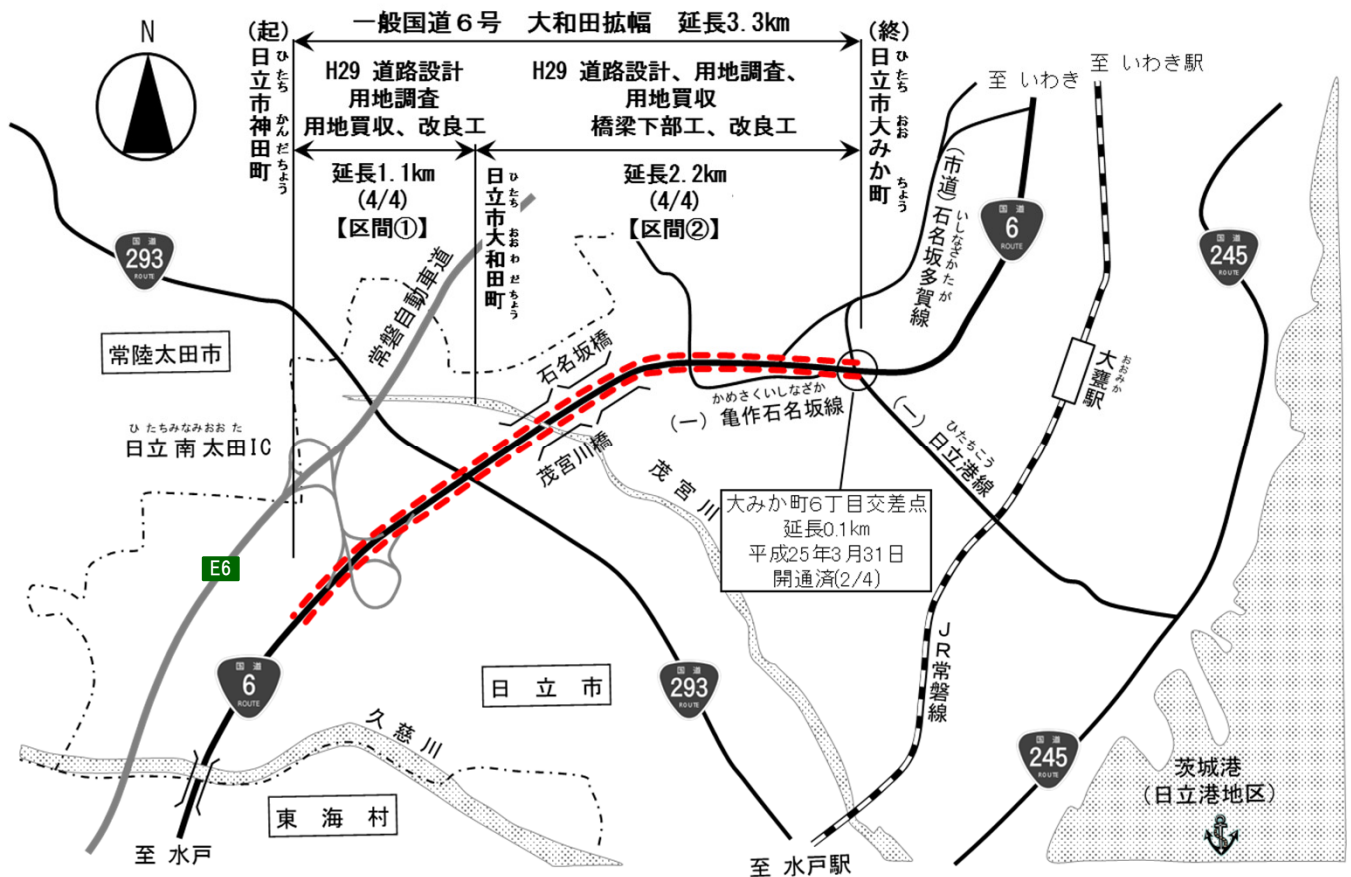
おおわだ ひたち
国道6号大和田拡幅は、日立市内の交通混雑緩和を図るとともに、いばらき ひたち
茨城港（日立港地区）、日立南太田ICとのアクセス向上を目的とした日立市神田町から同市大みか町ま
ひたちみなみおおた ひたち かんだちよう おお
での延長3.3kmの現道拡幅事業です。

平成29年度予定

○早期開通に向けて、道路設計、用地調査、用地買収、
橋梁下部工事、改良工事を実施する予定です。



大和田拡幅の渋滞状況



事業の効果

ひたちみなみおおた いばらき ひたち
○日立南太田ICから茨城港日立港区や周辺工場間の所要時間短縮、アクセス向上等、物流機能を強化し、貨物需要の増加に貢献します。

国道16号 八王子～瑞穂拡幅

平成29年度開通予定

H29年度事業費:15.0億円
【東京都】直轄

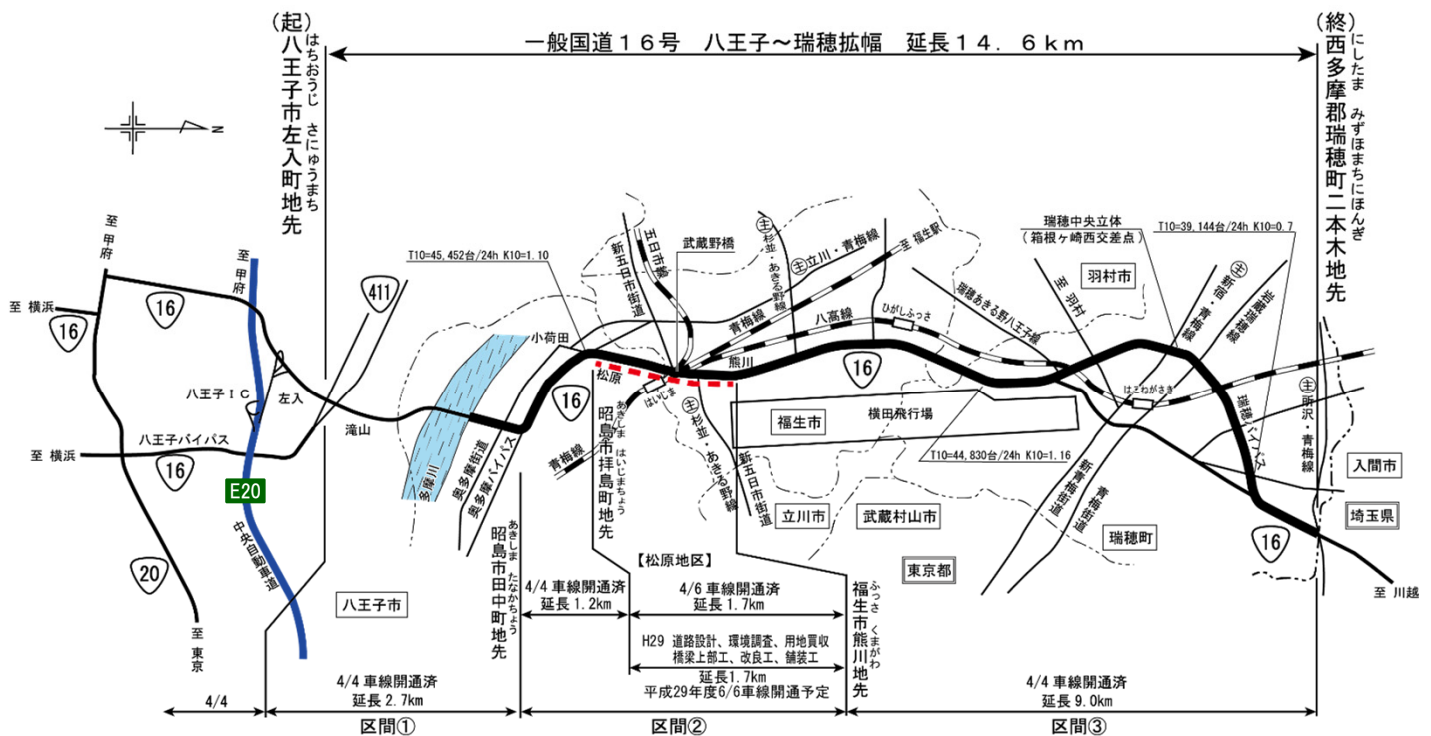
事業の概要

国道16号八王子～瑞穂拡幅は、八王子市、昭島市、福生市、羽村市、西多摩郡瑞穂町の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした八王子市左入町から瑞穂町二本木までの延長14.6kmの現道拡幅事業です。

これまでに、八王子市左入町から瑞穂町二本木までの延長14.6kmが4車線で開通しています。

平成29年度予定

○昭島市拝島町から福生市熊川までの延長1.7kmについては、平成29年度6車線開通に向け、道路設計、環境調査、用地買収、橋梁上部工事、改良工事、舗装工事を実施する予定です。



事業の効果

○現道拡幅により、交通の円滑化による交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待されます。

○拝島駅周辺整備事業と連携した広域交流軸の整備により、八王子市や立川市、福生市等の隣接する都市からの交通の円滑化を図り、地域の活性化に寄与します。

はちおうじ 国道16号 八王子拡幅

平成29年度開通予定

H29年度事業費:5.3億円
【東京都】直轄

事業の概要

国道16号八王子拡幅は、八王子市内の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした東京都八王子市中野上町から八王子市左入町までの延長2.7kmの現道拡幅事業です。

これまでに、八王子市中野上町から八王子市中野山王までの延長0.6km及び八王子市中野山王から八王子市左入町までの延長1.7kmが開通しています。

平成29年度予定

○八王子市中野山王の延長0.4kmについては、平成29年度の開通に向け、道路設計、移設補償、改良工事、舗装工事、電線共同溝工事を実施する予定です。

○平成29年3月25日に本線4車線開通した八王子市中野上町から八王子市中野山王までの延長0.6kmについては、引き続き歩道舗装工を実施する予定です。



事業の効果

○現道拡幅（4車線整備）により、交通渋滞の緩和や交通事故の減少が見込まれ、八王子市街地と昭島、福生地域との交通円滑化が期待されます。

国道17号 三国防災

H29年度事業費:16.2億円

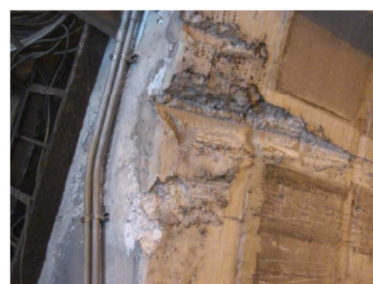
【群馬県・新潟県】直轄

事業の概要

国道17号三国防災は、国道17号の急峻な山岳地帯の線形・視距等の局部改良及び老朽橋の架け替え、三国トンネルの整備や法面の防災対策を行い交通の安全を確保することを目的とした、群馬県利根郡みなかみ町羽場から新潟県南魚沼郡湯沢町三国までの延長17.4kmの防災事業です。



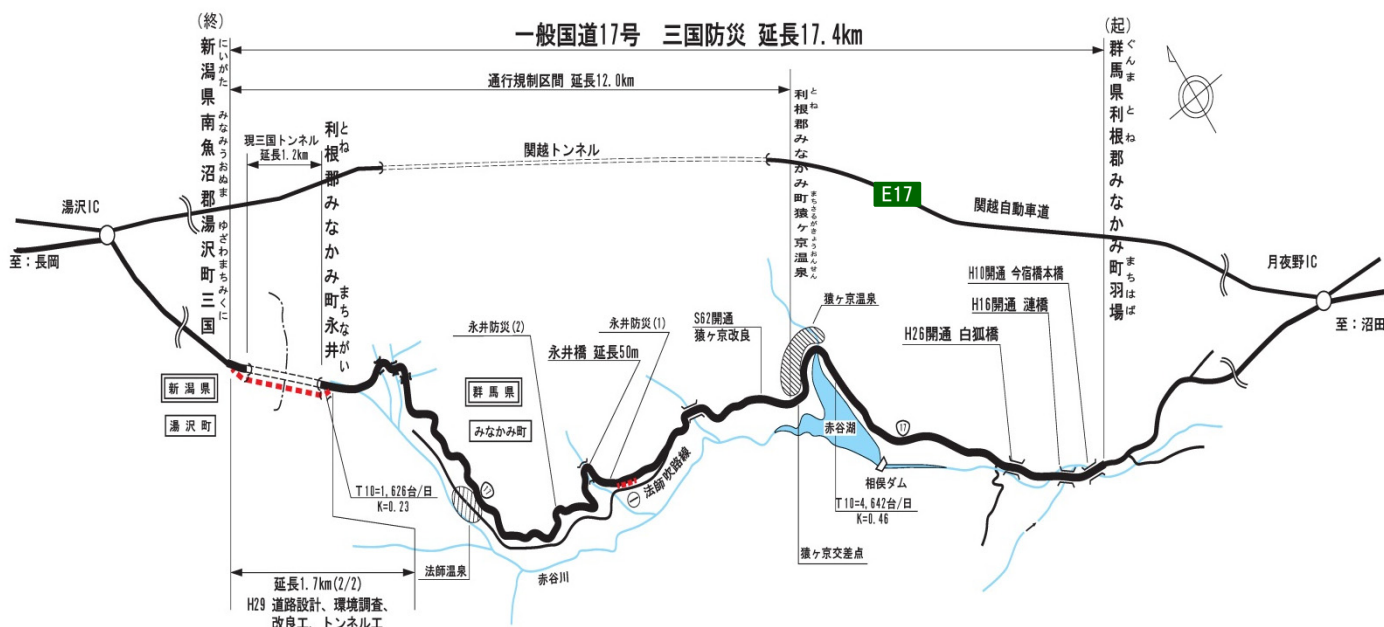
三国トンネル(現トンネル)の状況



大型車による覆工の擦り状況

平成29年度予定

○早期開通に向けて、新三国トンネル（仮称）区間に係る改良工事、トンネル工事を推進するとともに、永井地区の用地買収及び改良工事を実施する予定です。



事業の効果

- 大型車同士のすれ違いが困難である現トンネルに対し、新トンネル整備後は幅員が広がり、すれ違い困難箇所が解消され、交通の安全性の向上が図られます。
- 関越トンネル等、関越自動車道が通行規制となる際の代替経路の強化に繋がります。
- 三国峠周辺の多くの温泉、スキー場等、観光資源地へのアクセス性の向上が図られます。

国道17号 上尾道路(Ⅱ期)

H29年度事業費:12.7億円

【埼玉県】直轄

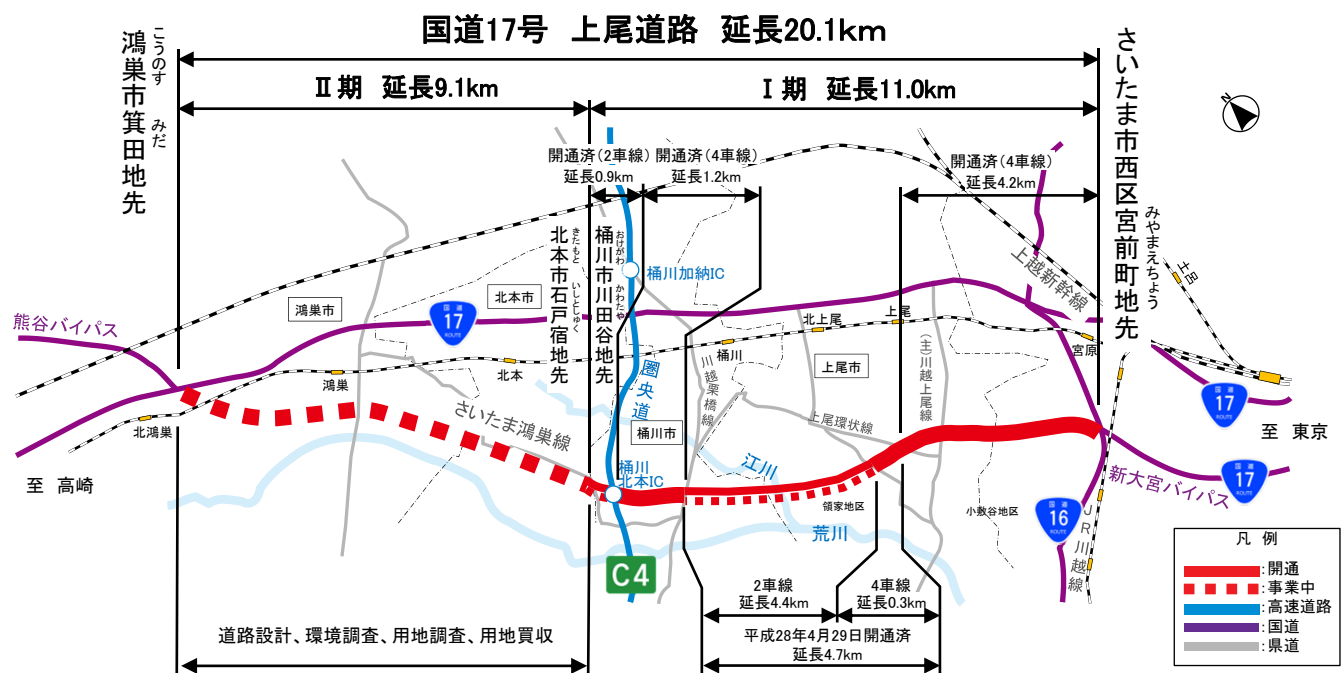
事業の概要

国道17号上尾道路は、埼玉県上尾市から鴻巣市間の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、首都圏中央連絡自動車道（桶川北本IC）に接続し、さいたま新都心へのアクセス強化など幹線道路網を形成するさいたま市西区宮前町（国道16号）から鴻巣市箕田までの延長20.1kmのバイパス事業です。

そのうち、北本市石戸宿から鴻巣市箕田までの延長9.1kmをⅡ期区間として事業を進めています。

平成29年度予定

○工事着手に向け、道路設計、環境調査、用地調査、用地買収を実施する予定です。



事業の効果

○国道17号の交通渋滞の緩和や沿道環境の改善が期待されます。

○埼玉県中央地域での南北交通軸として、沿道地域の発展に寄与します。

国道18号 野尻IC関連

平成29年度一部開通予定

H29年度事業費:2.1億円

【長野県】直轄

事業の概要

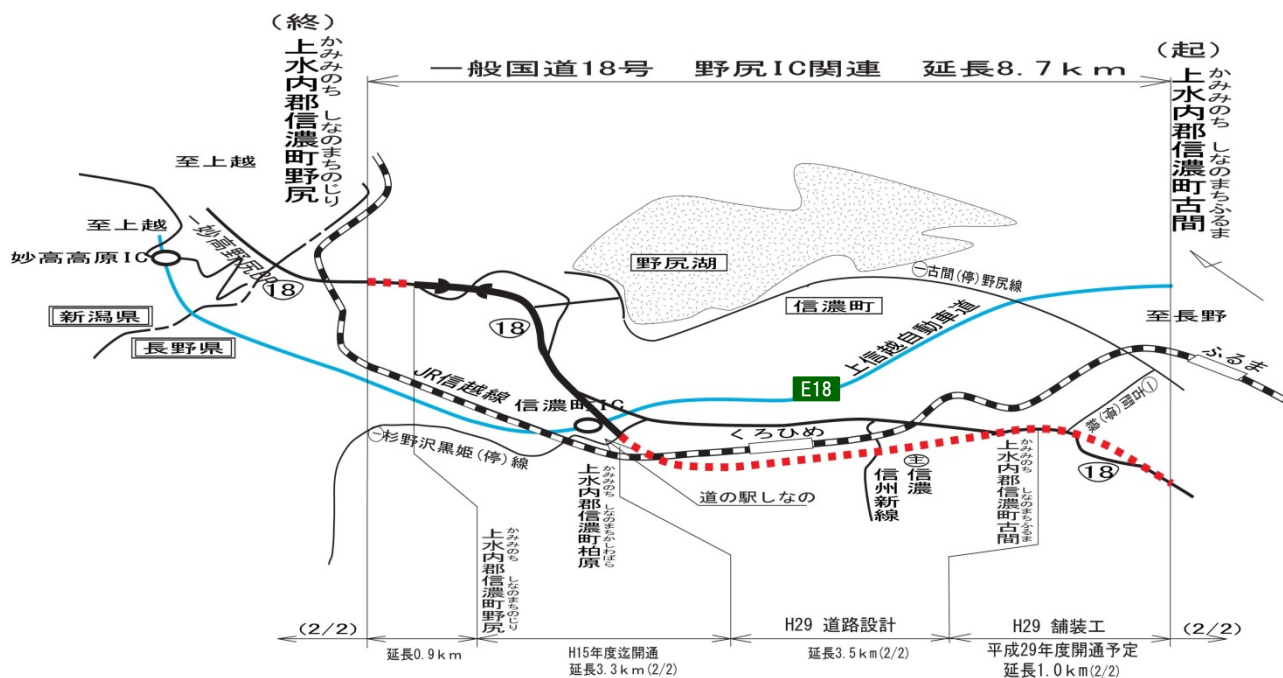
国道18号野尻IC関連は、野尻湖周辺の観光交通による交通混雑の緩和を図るとともに、交通安全の確保を目的とした、上水内郡信濃町古間から同町野尻までの延長8.7kmのバイパス（一部現道拡幅）事業です。



信濃町柏原地先の交通状況

平成29年度予定

○上水内郡信濃町古間地先の延長1.0kmについては、平成29年度の開通に向けて、舗装工事を実施する予定です。



事業の効果

- 堆雪幅が確保されることにより、円滑に除雪が行えます。
- 観光地へのアクセス性が向上し、観光産業の活性化が期待されます。
- 上信越自動車道の災害等による通行止め時のリダンダンシー機能が強化されます。

国道20号 日野バイパス(延伸)Ⅱ期

平成29年度新規事業

H29年度事業費:0.5億円

【東京都】直轄

事業の概要

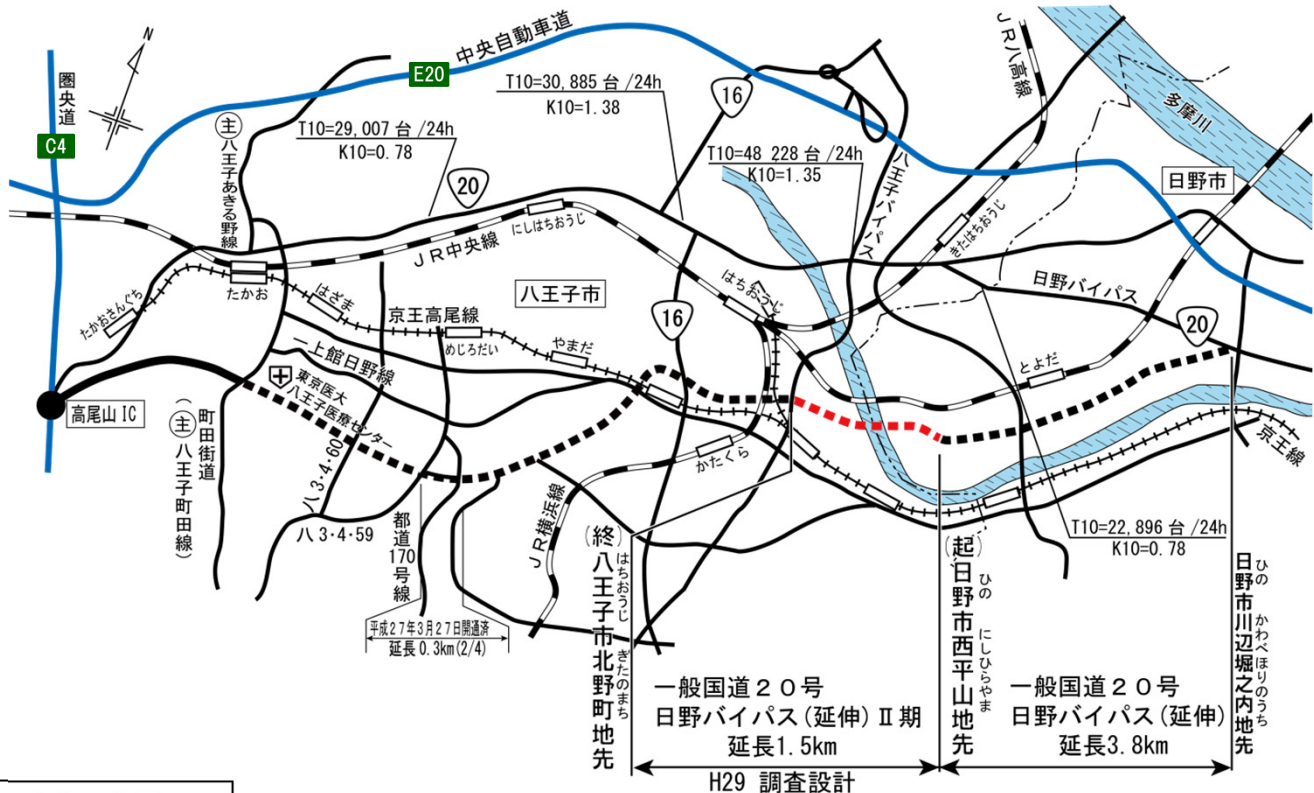
国道20号日野バイパスは、国道20号（甲州街道）や並行する北野街道等の交通渋滞の緩和と交通安全の確保を目的とした、日野市西平山から八王子市北野町までの延長1.5kmのバイパス事業です。

平成29年度予定

○平成29年度は、測量、地質調査及び道路設計を実施する予定です。



国道20号の渋滞状況



事業の効果

- 通過交通等の排除により渋滞の緩和が期待され、八王子市が目指す広域的な交通利便性のポテンシャルを活かした交通体系の整備により、地域経済の活性化を支援します。
- 物流の効率化により、日野市が目指す産業、商業等の立地を支援します。
- 第三次救急医療施設（東京医大八王子医療センター）へのアクセスルートを強化し、救急搬送ネットワークを構築します。

国道20号 新笹子トンネル改修

H29年度事業費:1.4億円

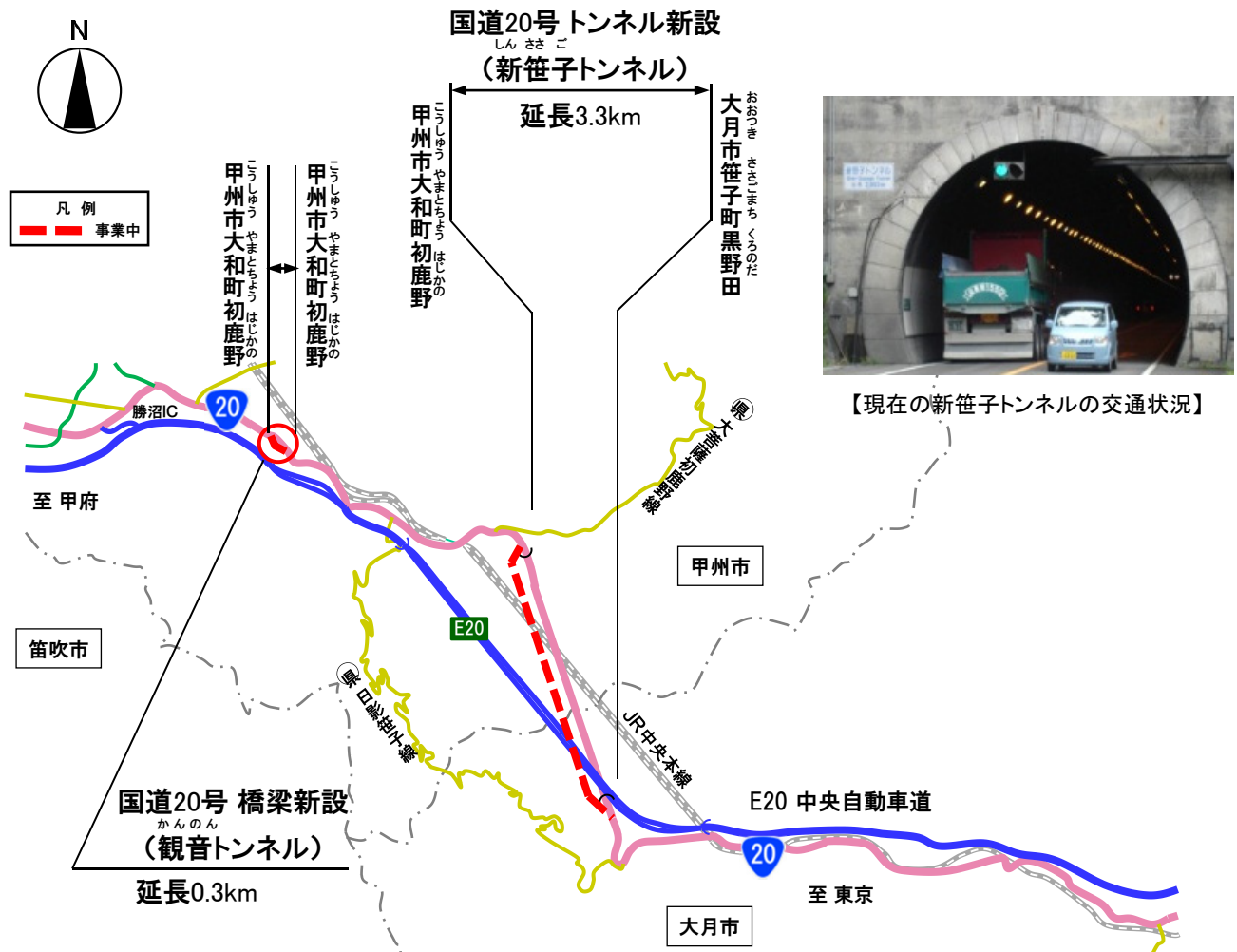
【山梨県】直轄

事業の概要

国道20号新笹子トンネル改修は、老朽化の著しい新笹子トンネルの整備を行い、交通の安全を確保することを目的とした大月市笹子町黒野田から甲州市大和町初鹿野までの延長3.6kmの防災事業です。

平成29年度予定

○工事着手に向けて道路設計及び地質調査、用地調査を実施する予定です。



事業の効果

- 新笹子トンネル改修が完成することにより、通過交通の安全を確保することができます。
- 背高コンテナ等の大型車の通行も可能になることから、広域物流支援につながる事も期待されます。

しも す わ お か や
国道20号 下諏訪岡谷バイパス

平成29年度一部開通予定

H29年度事業費：4.0億円

【長野県】直轄

事業の概要

国道20号下諏訪岡谷バイパスは、下諏訪町及び岡谷市街地の交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした、諏訪郡下諏訪町東町から岡谷市今井までの延長5.4kmのバイパス事業です。



たいしゃどおり
大社通り交差点の渋滞状況

平成29年度予定

- 下諏訪町東町から岡谷市長地間の延長1.7kmについては、早期開通に向けて、道路設計、環境調査、用地買収、改良工事を実施する予定です。
- 岡谷市今井地先の延長0.8kmについては、平成29年度の開通に向け、舗装工事を実施する予定です。



事業の効果

- 国道20号（現道）から交通の転換が図られ、交通渋滞の緩和・交通事故の減少が見込まれます。
- 周辺の観光施設、精密機械工場等からの長野自動車道（岡谷インターチェンジ）へのアクセス性が向上し、観光の活性化や物流機能の強化の他、さらなる企業誘致の推進が期待されます。

国道50号 前橋笠懸道路

H29年度事業費:12.0億円

【群馬県】直轄

事業の概要

国道50号前橋笠懸道路は、群馬県内の国道50号で唯一の2車線区間である前橋市からみどり市間の交通渋滞の緩和と交通安全の確保を目的とした、前橋市今井町からみどり市笠懸町鹿までの延長12.5kmのバイパス(一部現道拡幅)事業です。



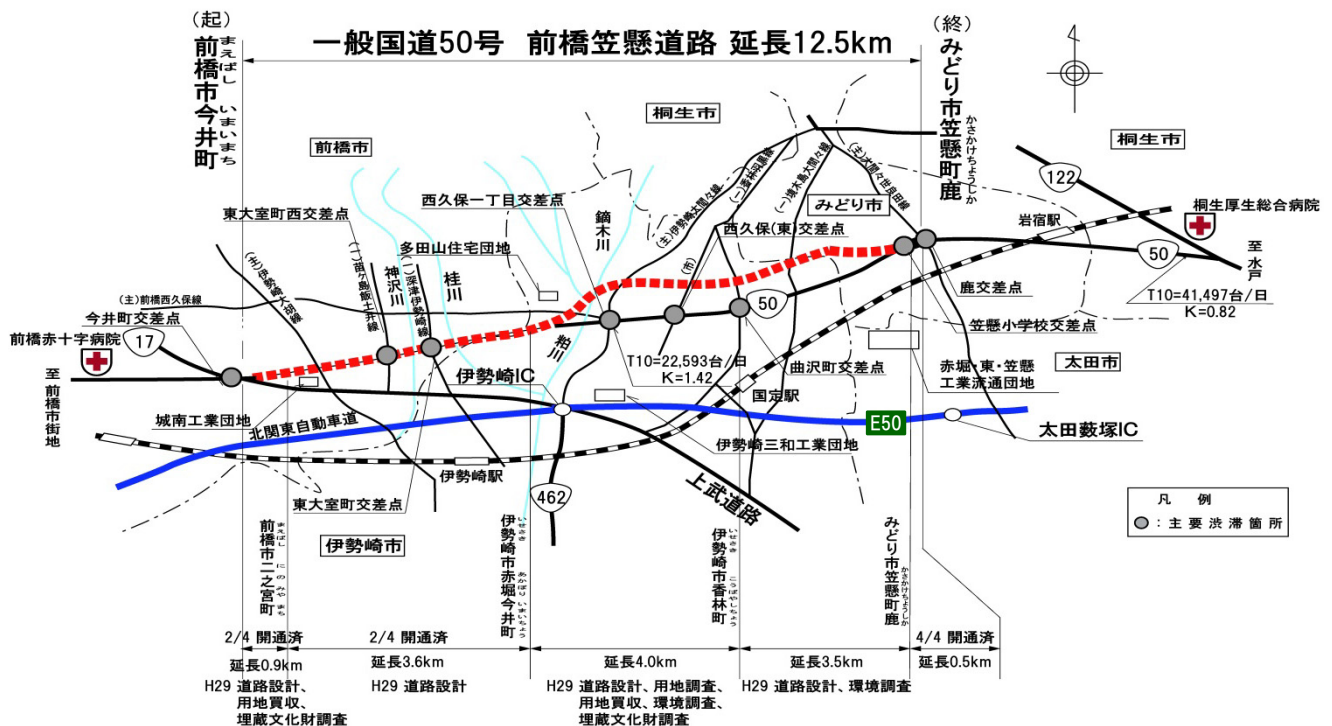
西久保一丁目交差点付近の渋滞状況



今井町交差点付近の渋滞状況

平成29年度予定

○工事着手に向けて、前橋市今井町から二之宮町までの延長0.9km、及び伊勢崎市赤堀今井町から香林町までの延長4.0kmについては、道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査を実施する予定です。



事業の効果

- 国道50号の交通の円滑化が図られ、交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待されます。
- 桐生厚生総合病院(二次医療施設)から前橋市周辺の救急医療施設(三次医療施設等)までの搬送時間が約9分短縮され、救命率の向上が期待されます。

国道246号 厚木秦野道路
厚木秦野道路(伊勢原西～秦野中井)
秦野IC関連

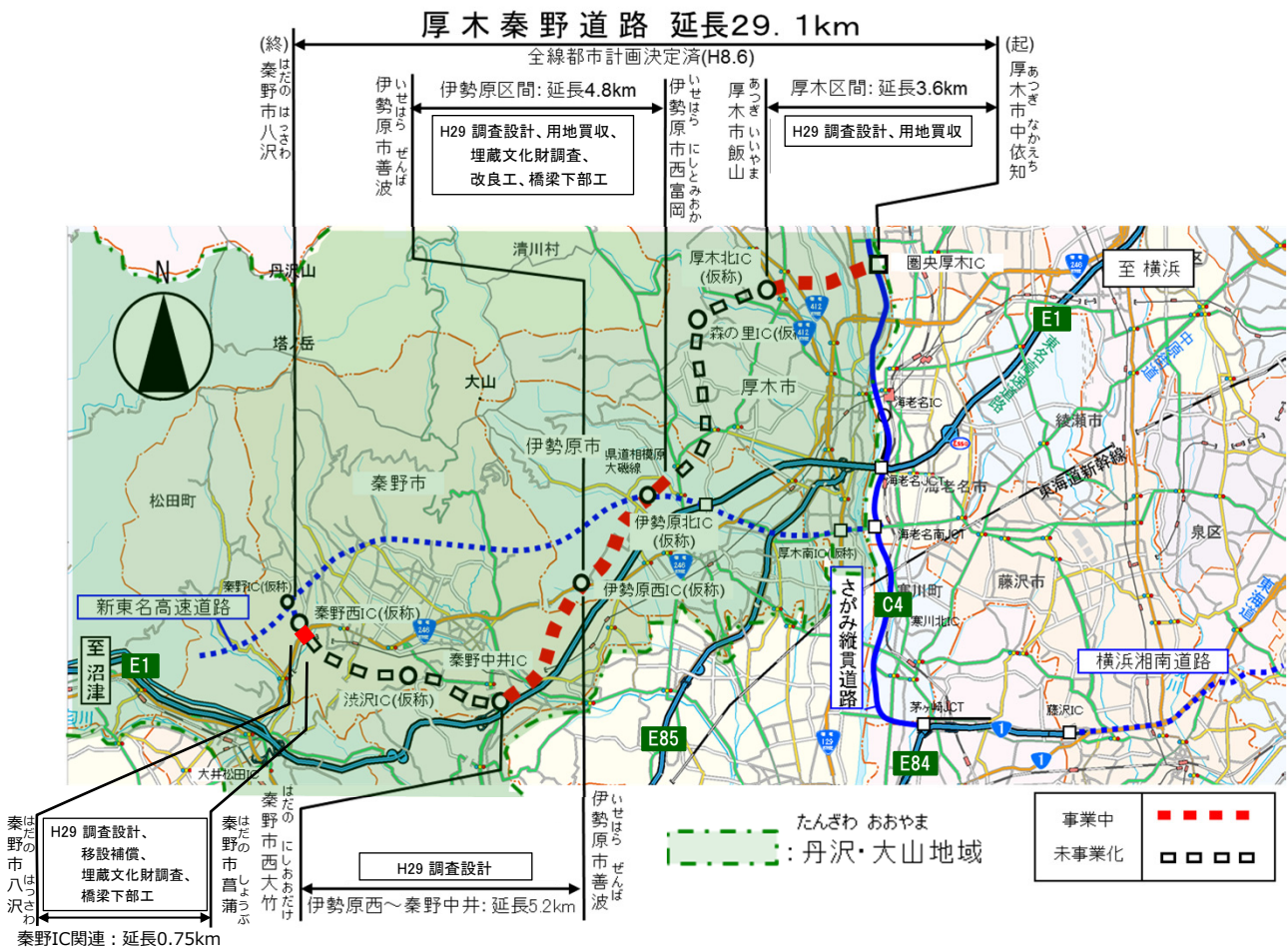
H29年度事業費:42.1億円
【神奈川県】直轄

事業の概要

厚木秦野道路は、国道246号のバイパスとして現道の交通渋滞緩和を図るとともに、東名高速、新東名、圏央道と相互に連絡し、神奈川県の県央地域において広域的なネットワークを構成する、厚木市中依知から秦野市八沢に至る29.1kmの地域高規格道路です。

平成29年度予定

○早期開通に向け、厚木区間及び伊勢原区間は、調査設計、用地買収、埋蔵文化財調査、橋梁下部工及び改良工事を実施する予定です。伊勢原西～秦野中井区間は、調査設計を実施する予定です。秦野IC関連は、調査設計、移設補償、埋蔵文化財調査及び橋梁下部工を実施する予定です。



事業の効果

- 並行する国道246号等の交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待されます。
- 厚木秦野道路の整備により、1日行動圏(2時間圏)の範囲が拡大し、丹沢・大山地域の観光産業の活性化やトレッキング等を目的とした利用客の増加等、民需拡大と地域経済の好循環に寄与することが期待されます。

平成29年度新規事業

H29年度事業費:0.5億円

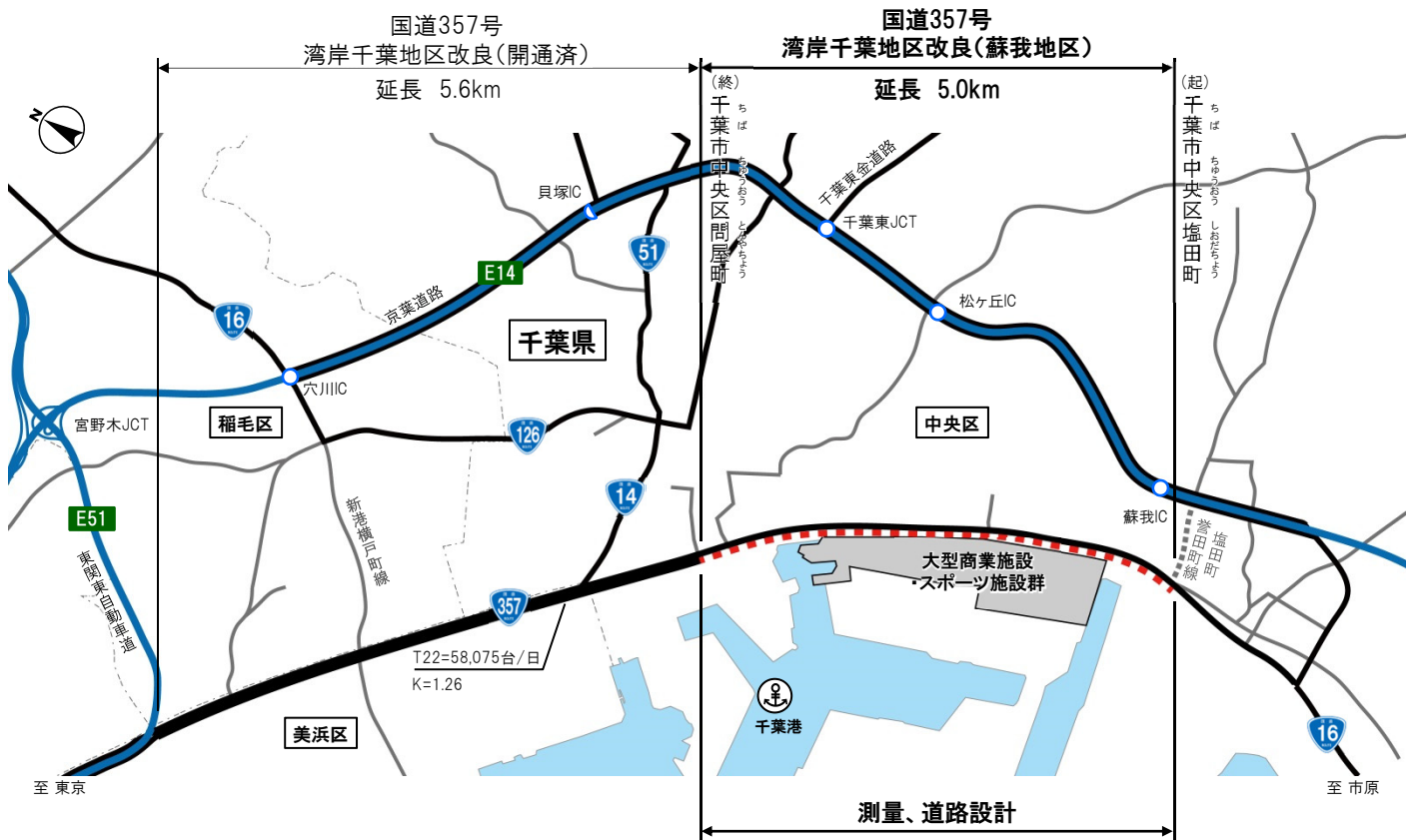
【千葉県】直轄

事業の概要

わんがんち ば そ が
湾岸千葉地区改良（蘇我地区）は、湾岸千葉地区の交通渋滞の緩和と物流の効率化を目的と
した千葉市中央区塩田町から同区問屋町までの延長5. 0 kmの現道拡幅事業です。

平成29年度予定

○平成29年度は、測量、道路設計を実施する予定です。



事業の効果

わんがんち ば

○湾岸千葉地区の慢性的な渋滞ボトルネックの解消が期待されます。

○首都圏へのエネルギー供給や完成自動車輸送等の物流の円滑性が確保されます。

○年間2000万人規模が来訪する蘇我副都心の大型商業施設・スポーツ施設群へのアクセス性が向上し、多様な都市機能の集積・魅力ある拠点形成に寄与します。

とうきょう わんがん

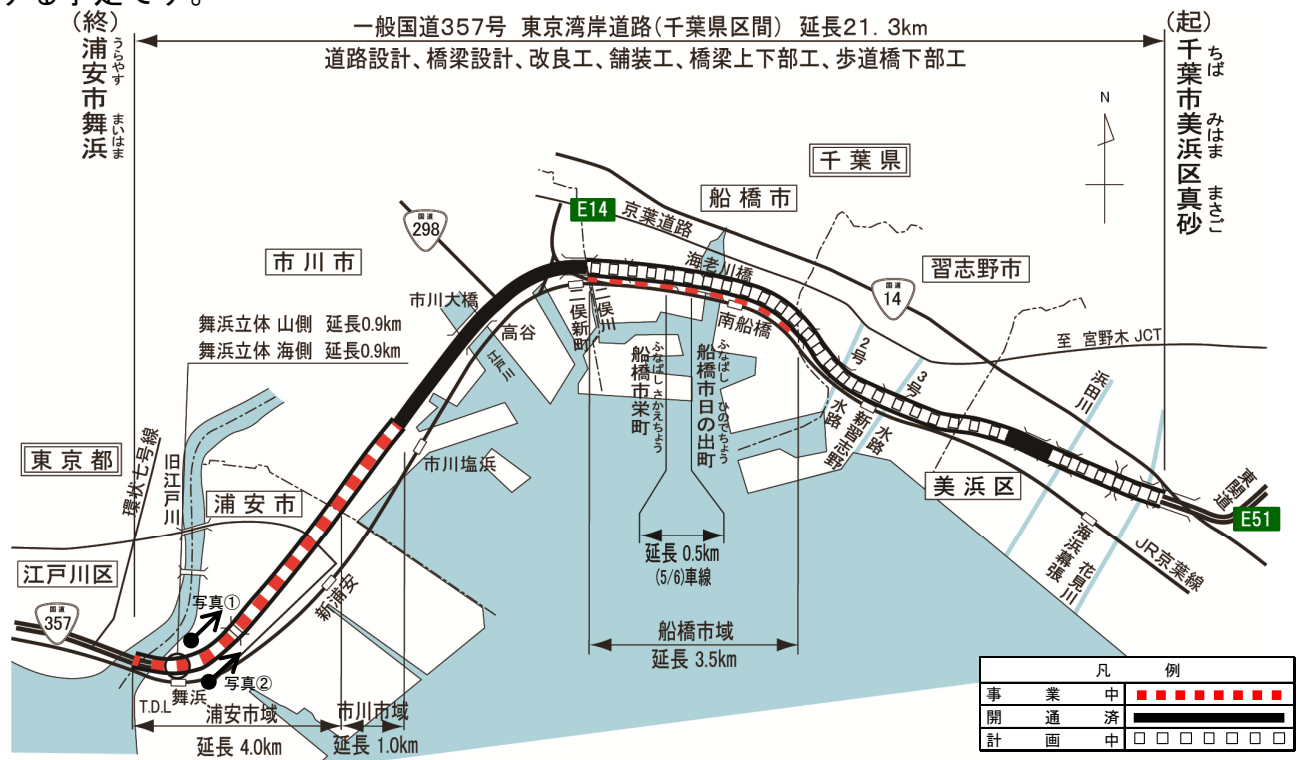
【千葉県】直轄

事業の概要

とうきょう わんがん

平成29年度予定

うらやす まいはま



渋滞状況(舞浜交差点)



写真①:舞浜立体山側
橋梁下部工事



写真②:舞浜立体海側
橋梁下部工事

事業の効果

- 首都圏の湾岸地区を結ぶ重要な幹線道路であり、渋滞の緩和、交通事故の減少が期待されます。
- 沿線に立地している京葉工業地域・千葉港のほか、集客力の高い多くの観光施設や商業施設へのアクセス性の向上が期待されます。
- 集積する物流施設等からの迅速・円滑・効果的な物流が確保され、産業活動の支援に寄与することが期待されます。

とうきょうわんがん
国道357号 東京湾岸道路(東京都区間)

H29年度事業費:60.5億円

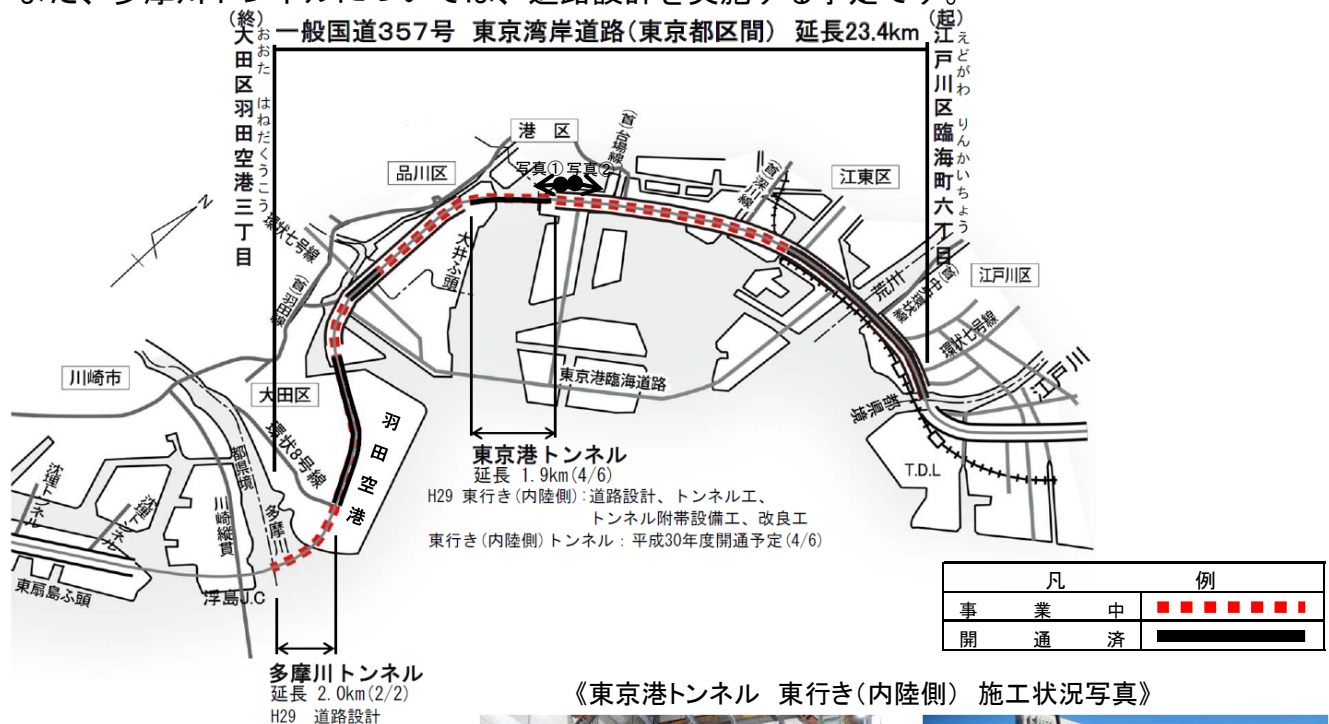
【東京都】直轄

事業の概要

国道357号東京湾岸道路は、周辺の諸都市を連絡する延長約80kmの幹線道路であり、内陸部の交通混雑の緩和を図るとともに、湾岸に立地する諸都市、諸施設の機能の効率化に資することを目的とした道路です。そのうち東京都区間は、江戸川区臨海町6丁目から大田区羽田空港3丁目(都県境)までの延長23.4kmの事業です。

平成29年度予定

- 東京港トンネルの東行き(内陸側)については、平成30年度の開通に向け、道路設計、トンネル工事、トンネル附帯設備工事、改良工事を実施する予定です。
- また、多摩川トンネルについては、道路設計を実施する予定です。



《東京港トンネル 東行き(内陸側) 施工状況写真》



写真①:シールドマシン到達状況【台場側立坑】
(平成29年1月17日貫通)



写真②:台場側掘削区間施工状況

事業の効果

- 首都圏の湾岸地区を結ぶ重要な幹線道路であり、渋滞の緩和、交通事故の減少が期待されます。
- 湾岸エリアをつなぐ新たなネットワークが構築され、東京臨海部における移動性の向上が期待されます。
- 東京臨海部と羽田空港、京浜港等の重要な施設間の連絡が強化され、物流・人流の効率化に寄与します。
- 緊急物資等を輸送する中継拠点となる防災拠点へのアクセス性が向上し、防災機能の強化に寄与します。

みなの ちちぶ
国道140号 皆野～秩父バイパス

H29年度事業費:6.0億円

【埼玉県】補助

事業の概要

にしかんとう

ちちぶ

こだま

おおさと

やまなしけん

西関東連絡道路は、埼玉県の秩父・児玉・大里地域と山梨県の地域集積圏との広域交流を促進する延長約110kmの地域高規格道路です。

みなの ちちぶ

ちちぶ

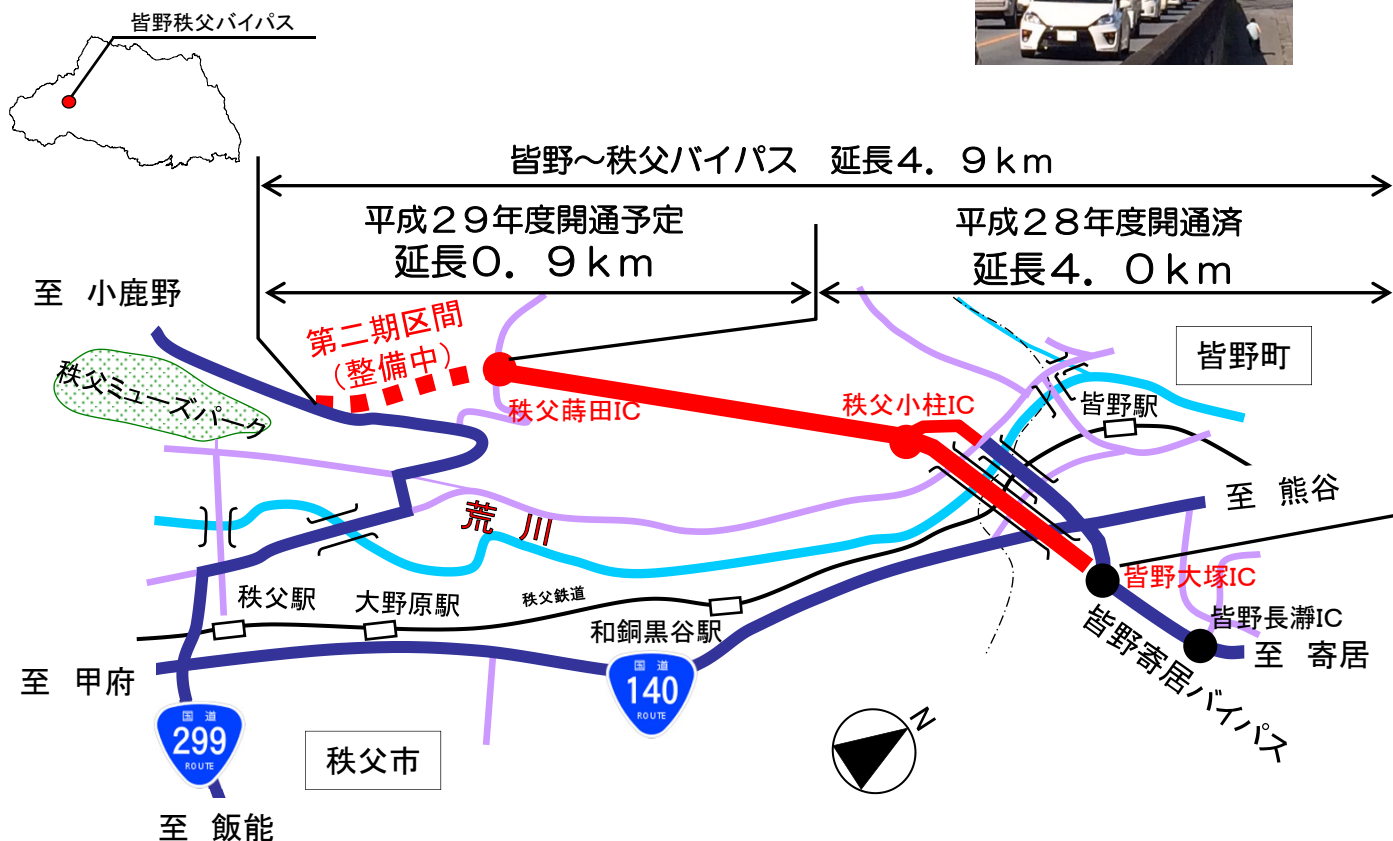
皆野～秩父バイパスは、西関東連絡道路の一部を構成し、秩父市街地の交通渋滞の緩和と西秩父地域へのアクセス強化を目的としたバイパス事業です。

渋滞状況(道の駅ちちぶ入口付近)



平成29年度予定

○道路改良工事、橋梁工事を実施する予定です。



事業の効果

- 交通の円滑化が図られ、国道140号現道の慢性的な交通渋滞が緩和されます。
- 開通済みの皆野寄居バイパスとつながり、災害時の輸送機能の強化が図られます。
- 高速道路インターチェンジとのアクセス性が向上することにより利便性が高まり、秩父地域の活性化が期待されます。

市道 矢板北スマートインター線

H29年度事業費:1.0億円

【矢板市】補助

事業の概要

市道矢板北スマートインター線は、現在整備中の東北縦貫自動車道弘前線・(仮称)矢板北スマートインターチェンジと一般県道県民の森矢板線を連絡するアクセス道路です。

現況写真(矢板北PA付近)



平成29年度予定

○測量・設計を実施する予定です。



事業の効果

- 市内北部地域の観光施設へのアクセスが向上し、産業や観光の活性化が期待されます。
- 高速道路へのアクセスが向上し、救急搬送時間が短縮され、生活環境の向上が図られます。
- 指定避難場所へのアクセスが向上し、災害時の輸送機能の強化が図られます。
- 主要渋滞箇所の渋滞緩和や事故危険箇所を回避し、交通の円滑化が図られます。

国道4号 栃木4号交差点改良等(雀宮(駅北)歩道整備)

H29年度事業費:1.5億円

【栃木県】直轄

事業の概要

国道4号雀宮駅北周辺地区は、国道4号雀宮駅入口交差点から宮の内2丁目交差点までの区間で、周辺にはJR雀宮駅や病院や商業施設等が立地しており自転車交通量も多く、雀宮中央小学校の通学路に指定されており歩道が狭いことから、通学児童等の歩行者と自転車の安全が確保されていない状況です。

このため、宇都宮市雀宮2丁目から宮の内2丁目までの延長約0.9kmの区間において、既存道路の拡幅により、上下線に3.0mの歩道と、自転車通行空間を整備しています。

平成29年度予定

平成29年度も引き続き、歩道設置に向け事業を実施する予定です。



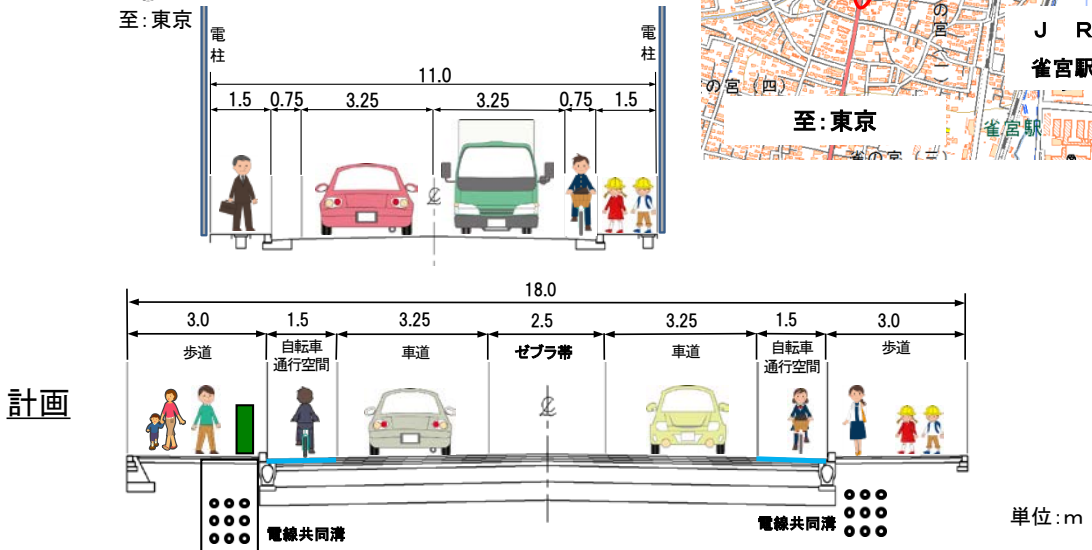
位置図



計画平面図



横断面図



事業の効果

○自転車と歩行者の通行空間を分けることで、歩行者と自転車の接触による事故が低減し歩行者の安全性向上、及び歩道拡幅により快適性向上が期待されます。

○自転車走行空間の整備により、自転車利用者の安全性が向上します。

国道6号 茨城6号交差点改良等(大津町北町地区歩道整備)
おおつちよう きたちよう ちく

H29年度事業費:1.7億円

【茨城県】直轄

事業の概要

国道6号大津町北町地区は、北茨城市立大津小学校の通学路に指定され、前後区間の歩道幅員は両側2.0m以上が確保されていますが、当該区間の歩道幅員は1.0m未満であり、狭隘な歩道区間となっています。また、急斜面の擁壁が存在し、歩道を拡幅することが難しい状況です。

このため、延長約0.07kmの区間において法面の切り直しを行い、歩道を拡幅することで、安全な歩行空間を整備しています。

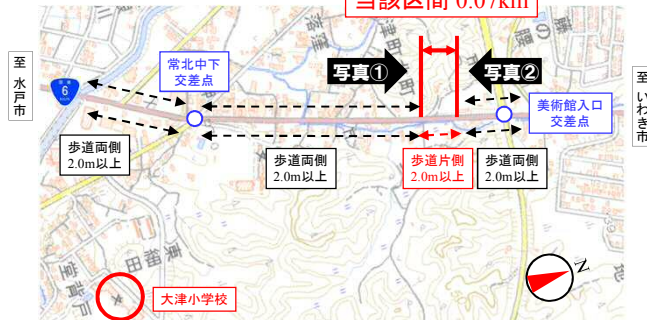


平成29年度予定

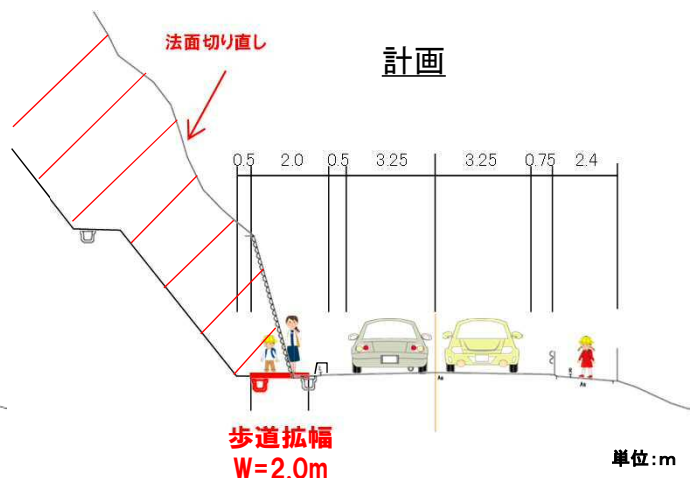
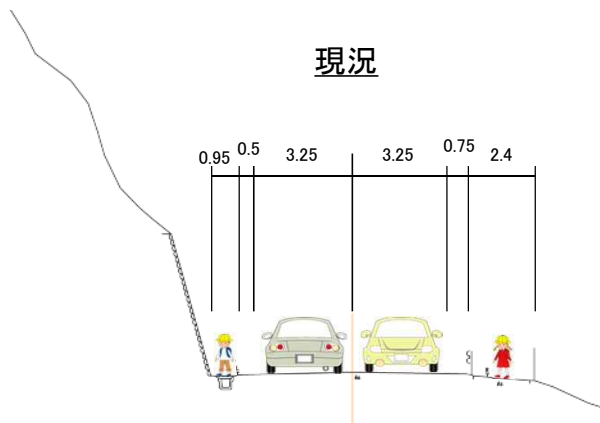
平成29年度は、歩道設置工事を実施する予定です。

位置図

計画平面図



横断面図



単位:m

事業の効果

○法面の切り直しを行い歩道を拡幅することで、歩行者と自動車の接触による事故が低減し、歩行者の安全性向上、及び歩道拡幅により快適性向上が期待されます。

かながわ
国道15号 神奈川15号交差点改良等(神奈川2丁目横断歩道橋整備)

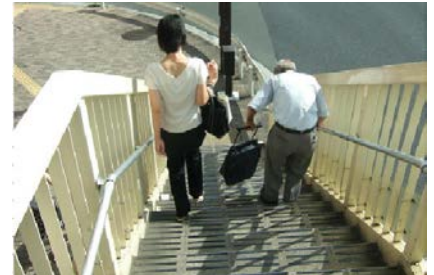
H29年度事業費:1.5億円

【神奈川県】直轄

事業の概要

ひがしかながわ なかきど
当該箇所は、JR東神奈川駅、京浜急行仲木戸駅に近接する死傷事故の多い交差点を横断する歩道橋であり、約4千人／日の利用があるが、歩道橋の幅員が1.5mと狭く歩行者のすれ違いが困難な状況です。

本事業は、歩道橋の幅員を3mに広げ昇降施設整備を行うとともに、交差点のコンパクト化による事故対策を行います。



平成29年度予定

平成29年度は、交差点改良工事を実施する予定です。

■位置図



■計画平面図

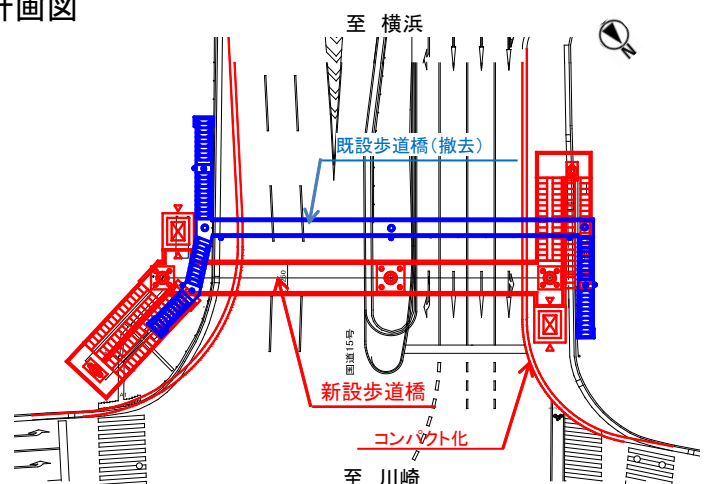


■写真

新設歩道橋整備



■計画図



事業の効果

○幅員の広い歩道橋を設置すると共に昇降施設整備を行うことで、高齢者やベビーカー利用者等を含めた歩行者の利便性向上が期待されます。

○交差点のコンパクト化により、交通事故の低減が期待されます。

あらじゆくまち
国道16号 埼玉16号交差点改良等(新宿町三丁目交差点改良)

H29年度事業費： 1.7億円

【埼玉県】直轄

事業の概要

当該箇所周辺にはJR川越駅や仙波小学校・城南中学校が立地し、通学路指定されていますが、交差点付近には歩道の溜まり空間が一部ない箇所があります。また、右折車線が短いために、渋滞時の追突事故や右折時の事故が多く発生しています。そのため、右折車線及び歩道の溜まり空間確保を行い、交通事故の抑止を図ります。

平成29年度予定

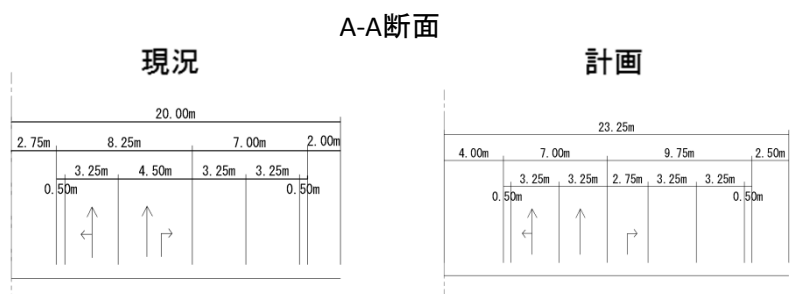
平成29年度は、交差点改良工事を実施する予定です。



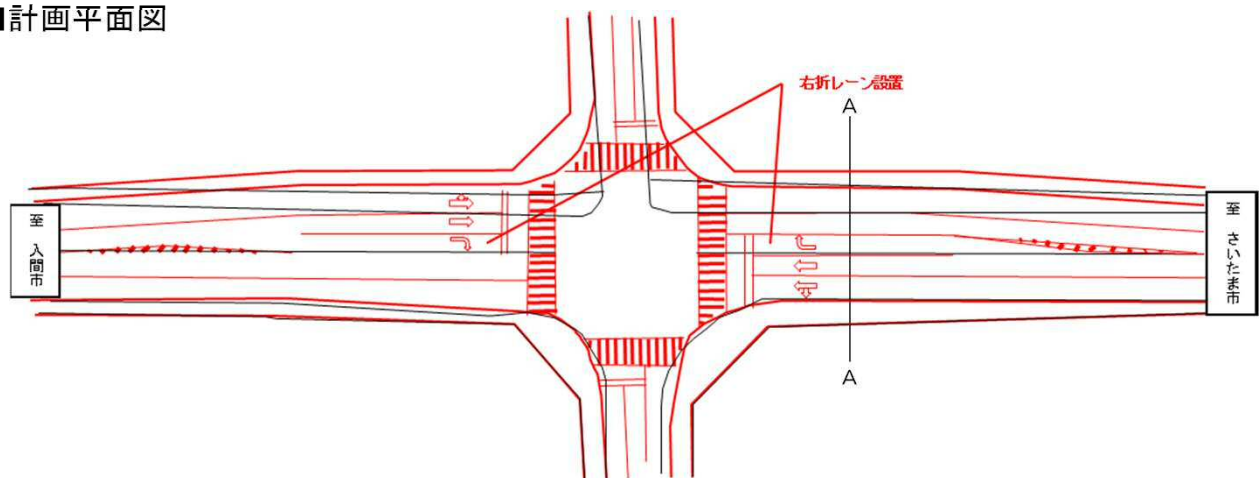
■位置図



■横断面



■計画平面図



事業の効果

○本事業は外回り側用地を買収し、右折車線を設置することで、交通事故の抑止および歩道の溜まり空間の確保により、歩行者や自転車の安全性向上に寄与するものと期待されます。

国道18号 長野18号交差点改良等(牟礼駅前交差点改良事業)

H29年度事業費:1.7億円

【長野県】直轄

事業の概要

国道18号^{むれ}牟礼駅前交差点は、市街地に位置し、国道18号と県道の交わる交差点です。周辺には、牟礼駅や学校が立地しており、歩行者の通行も多く交差点部には右折レーンが無い^{ため}、右折車両への追突事故が発生しています。また、学校指定の通学路に指定されていますが、歩道未設置のため、歩行者の安全が確保されていない状況です。

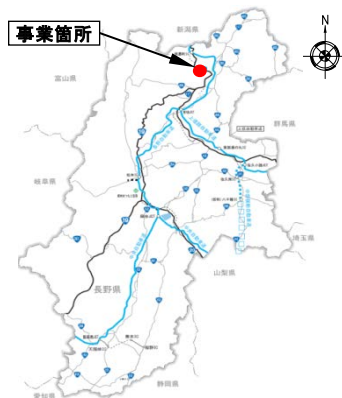
平成29年度予定

平成29年度は、交差点改良工事を実施する予定です。

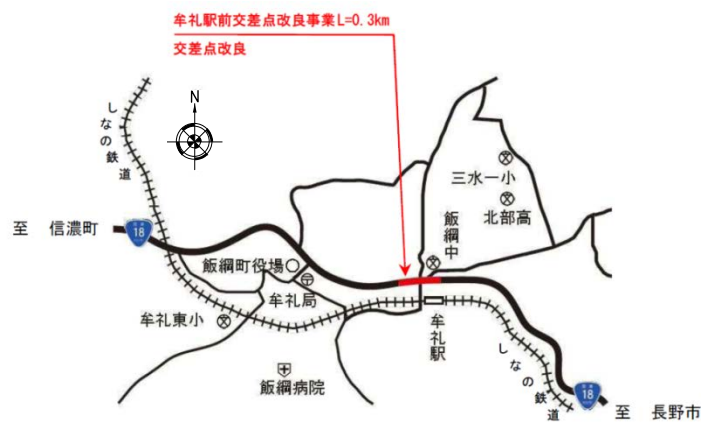


むれ
牟礼駅前交差点の現況

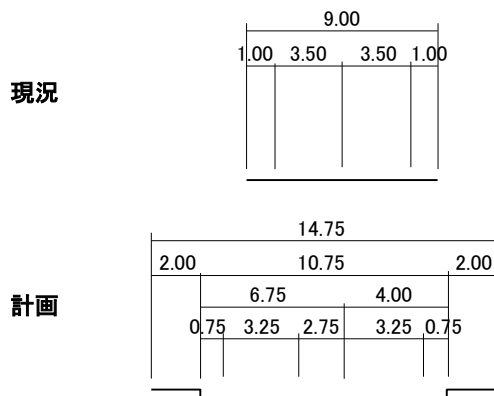
■位置図



■計画平面図



■横断面図



単位:m

事業の効果

○交差点改良を行うとともに、安心して移動できる歩行経路を整備し、歩行者等の安全・安心な通行空間を確保するものです。

国道4号 古河大堤電線共同溝

H29年度事業費: 1.4億円

【茨城県】直轄

事業の概要

国道4号古河大堤電線共同溝は、茨城県古河市大堤における延長約0.9kmの電線共同溝事業です。当該箇所は、JR古河駅近傍に位置するとともに沿道には商業施設が建ち並び、また、近くに陸上自衛隊古河駐屯地、古河赤十字病院、古河消防署など防災上重要な施設がある地域に位置しています。

平成29年度予定

調査設計、支障物移設補償及び本体工事を実施する予定です。

位置図



平面図



現地状況



断面図



事業の効果

- 無電柱化を推進することで、道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の形成や観光振興等の観点に寄与するものと期待されます。

しもつけし ささはら
国道4号 下野市笹原電線共同溝

H29年度事業費:2.6億円

【栃木県】直轄

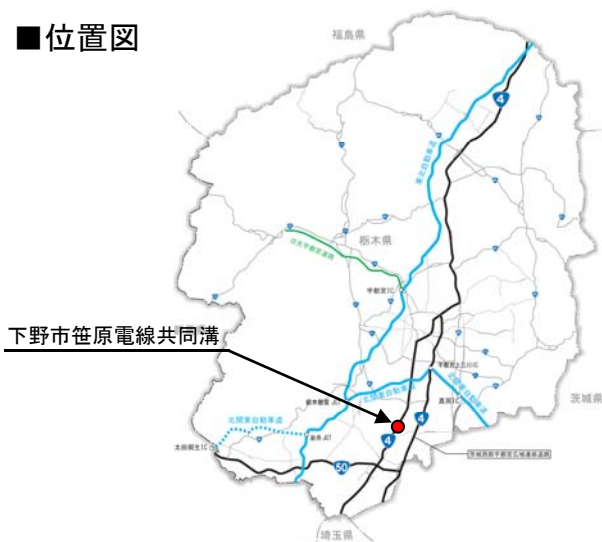
事業の概要

国道4号下野市笹原電線共同溝は、栃木県下野市小金井から笹原における延長約2.4kmの電線共同溝事業です。当該箇所は、JR自治医大駅近傍に位置するとともに、下野市役所の新庁舎が建設された区間で、今後、歩道利用者の増加が見込まれる地域となっています。

平成29年度予定

調査設計、支障物移設補償及び本体工事を実施する予定です。

位置図



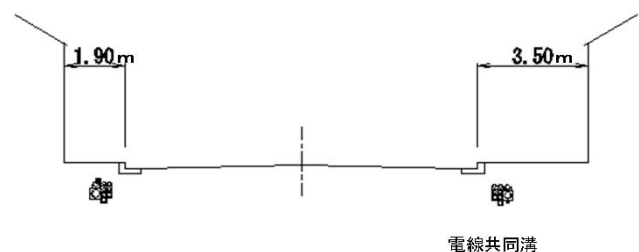
平面図



現地状況



断面図



事業の効果

- 無電柱化を推進することで、道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の形成や観光振興等の観点に寄与するものと期待されます。

国道4号 ^{こしがや}越谷電線共同溝

H29年度事業費:4.0億円

【埼玉県】直轄

事業の概要

国道4号越谷電線共同溝は、埼玉県越谷市下間久里から千間台東までの延長約2.0kmの電線共同溝事業です。当該事業は、越谷市都市計画マスタープランにおいてせんげん台駅を中心とした土地区画整理事業が進められている第二種住居地域に位置しています。

平成29年度予定

調査設計、支障物移設補償及び本体工事を実施する予定です。

■位置図



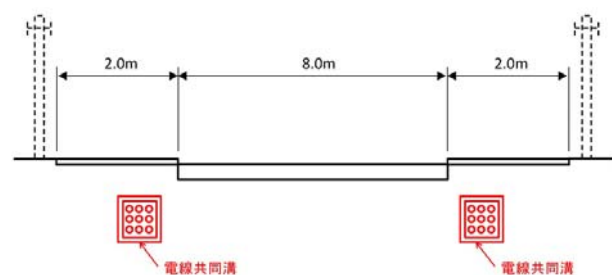
■平面図



■現地状況



■断面図



事業の効果

○無電柱化を推進することで、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点に寄与するものと期待されます。

国道4号 三ノ輪電線共同溝

H29年度事業費:2.0億円

【東京都】直轄

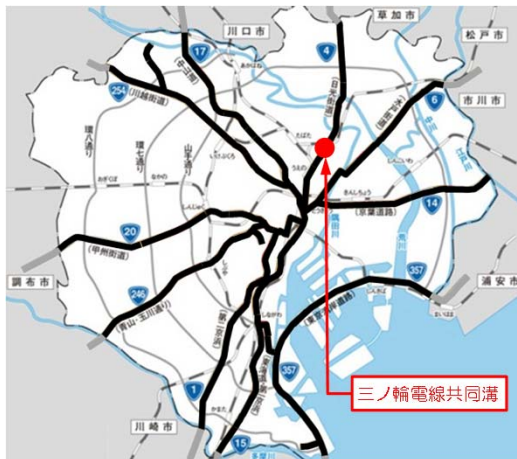
事業の概要

国道4号三ノ輪電線共同溝は、東京都台東区根岸五丁目から三ノ輪二丁目までの延長約0.8kmの電線共同溝事業です。当該地域は人口集中地域内の商業地域に位置しています。

平成29年度予定

本体工事を実施する予定です。

■位置図



■平面図



■現地状況



■断面図



事業の効果

○無電柱化を推進することで、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点に寄与するものと期待されます。

国道16号 ^{しもさんがお} 下三ヶ尾電線共同溝

H29年度事業費: 1.2億円

【千葉県】直轄

事業の概要

国道16号 ^{しもさんがお} 下三ヶ尾電線共同溝は、^{ちばのだ} 千葉県野田市上三ヶ尾から ^{しもさんがお} 下三ヶ尾までの延長約1.0kmの電線共同溝事業です。当該事業は、工業地域、市街地化調整区域に位置しています。

平成29年度予定

調査設計及び引込管等工事を実施する予定です。

■位置図



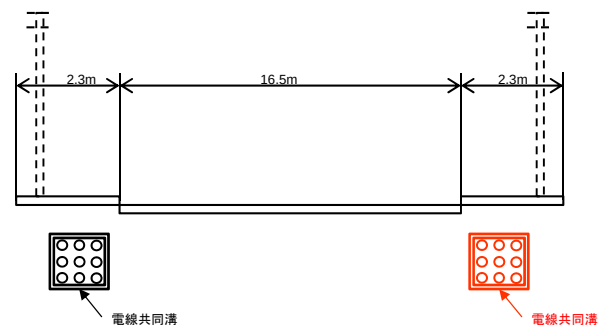
■平面図



■現地状況



■断面図



事業の効果

○無電柱化を推進することで、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点に寄与するものと期待されます。

国道18号 岩井(2)電線共同溝

H29年度事業費:1.7億円

【群馬県】直轄

事業の概要

国道18号岩井(2)電線共同溝は、群馬県安中市岩井～中宿までの延長約0.6kmの電線共同溝事業です。当該事業は非線引き都市計画区域に位置しています。

平成29年度予定

調査設計及び本体工事を実施する予定です。

■位置図



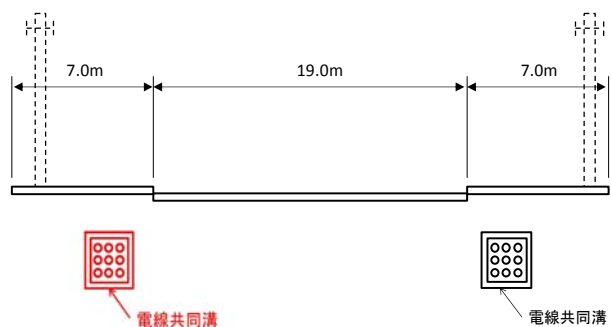
■平面図



■現地状況



■断面図



事業の効果

○無電柱化を推進することで、道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点に寄与するものと期待されます。

国道139号 富士北麓(2)電線共同溝

H29年度事業費:2.6億円

【山梨県】直轄

事業の概要

国道139号富士北麓(2)電線共同溝は、山梨県南都留郡鳴沢村前原から富士河口湖町船津までの延長約7.1kmの電線共同溝事業です。当該事業は、ダイナミックやまなし総合計画において県の魅力的な景観を代表する地域とされており、近隣商業地域に位置しています。

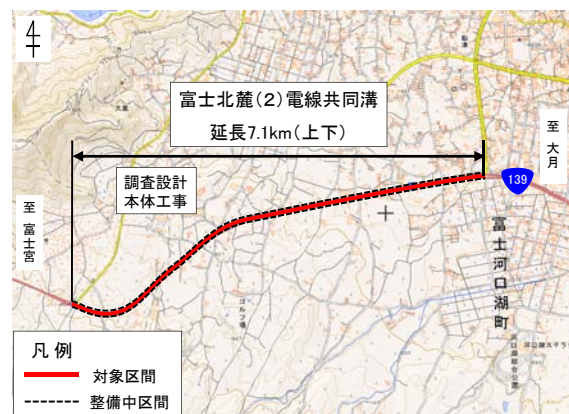
平成29年度予定

調査設計及び本体工事を実施する予定です。

位置図



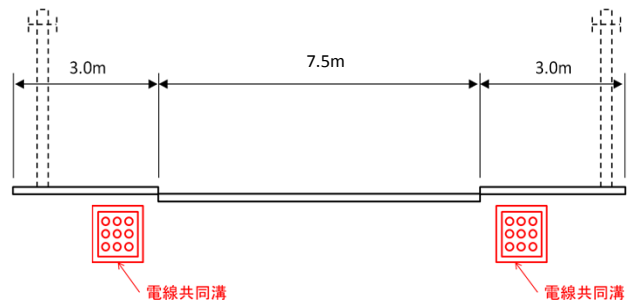
平面図



現地状況



断面図



事業の効果

○無電柱化を推進することで、道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点に寄与するものと期待されます。

国道246号 下鶴間(2)電線共同溝

H29年度事業費:2.3億円

【神奈川県】直轄

事業の概要

国道246号下鶴間(2)電線共同溝は、神奈川県大和市下鶴間から深見西6丁目までの延長約1.1kmの電線共同溝事業です。当該事業は、近隣に大和私立病院があるとともに、商業施設や住居等が立ち並ぶ準工業地域に位置しています。

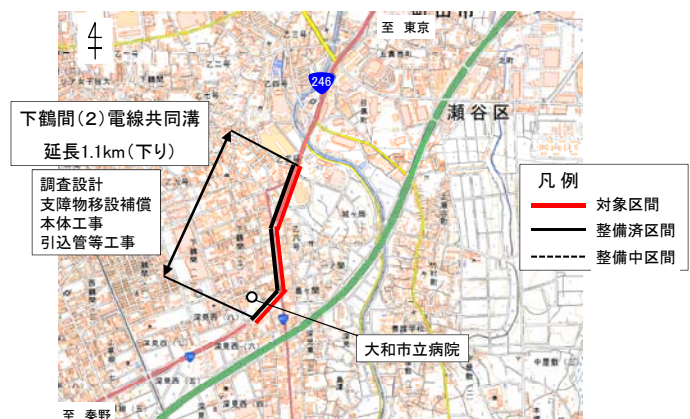
平成29年度予定

調査設計、支障物移設補償、本体工事及び引込管等工事を実施する予定です。

位置図



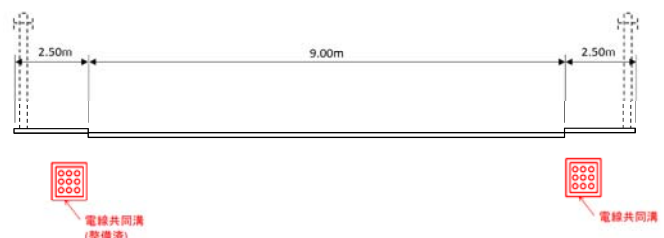
平面図



現地状況



断面図



事業の効果

○無電柱化を推進することで、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点に寄与するものと期待されます。

かじ が や 国道246号 梶が谷電線共同溝

H29年度事業費:2.0億円

【神奈川県】直轄

事業の概要

か な が わ か わ さ き た か つ し も さ く の べ かじ が や
国道246号梶が谷電線共同溝は、神奈川県川崎市高津区下作延から梶が谷までの延長約0.8kmの電線共同溝事業です。当該事業は、溝の口駅、梶が谷駅に隣接した住居や商業施設が数多くある準住居地域に位置しています。

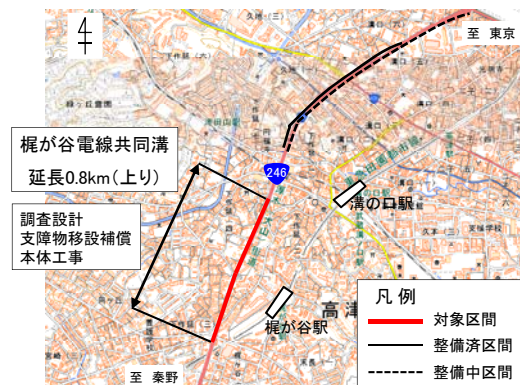
平成29年度予定

調査設計、支障物移設補償及び本体工事を実施する予定です。

■位置図



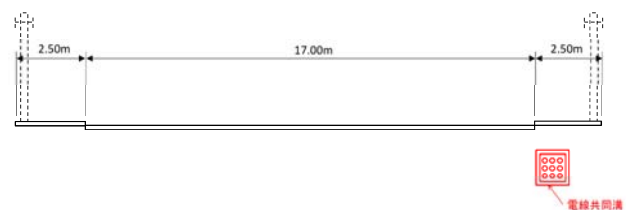
■平面図



■現地状況



■断面図



事業の効果

○無電柱化を推進することで、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点に寄与するものと期待されます。

国道20号 ちょうふ 調布(2)共同溝

H29年度事業費: 10.6億円

【東京都】直轄

事業の概要

国道20号 ちょうふ 調布(2)共同溝は、東京都調布市 ちょうふし 仙川町3丁目から国領町2丁目に至る延長2.9kmの共同溝整備事業であり、東京都心方向へ整備を進め、共同溝のネットワーク化を図るものです。

平成29年度予定

調査設計及び本体工事を実施する予定です。

■位置図



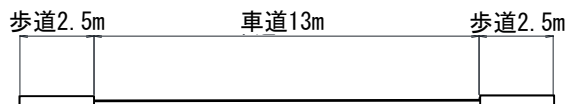
■現地状況



■平面図



■断面図



共同溝

約4m

道路の地下に共同溝を整備します

事業の効果

○ 道路の掘り返しによる渋滞発生を抜本的に解消するとともに、災害時のライフラインの安全性の向上に寄与するものと期待されます。

平成29年度の道路調査の見通しについて

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

栃木県	国道4号	矢板 ^{やいた} 大田原 ^{おおたわら} バイパス
長野県	国道20号	諏訪 ^{すわ} バイパス
山梨県・長野県	中部横断自動車道	長坂 ^{ながさか} ～八千穂 ^{やちほ}

北千葉道路(市川^{いちかわ}～鎌ヶ谷^{かまがや})については、国際空港へのアクセスや周辺的高速道路ネットワークを踏まえ、効果的・効率的な整備手法を検討するため、構造等の議論を進めます。

東京外かく環状道路(東名高速～湾岸道路間)については、計画の具体化に向けた検討の進め方について、東京都、川崎市とともに議論を進めます。

国道50号本町二丁目交差点^{ほんまち}については、一体的な市街地開発と通過交通による渋滞解消の両立を目指し、群馬県・前橋市と連携し、構造等の概略的な検討のための調査を実施します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、大都市周辺のボトルネック箇所への集中的対策に向けた調査を推進します。

さらに、渋滞や交通安全など、鹿島港周辺をはじめ、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

＜道路調査の流れ＞

